

中山公園野球場整備工事（人工芝）

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称
G- 01	特記仕様書－ 1
G- 02	特記仕様書－ 2
G- 03	特記仕様書－ 3
G- 04	案内図
G- 05	敷地求積図
G- 06	（現況）配置図
G- 07	グラウンド平面図
G- 08	勾配計画平面図
G- 09	舗装詳細図
G- 10	雑詳細図－ 1
G- 11	雑詳細図－ 2
G- 12	ブルペン詳細図－ 1
G- 13	ブルペン詳細図－ 2
G- 14	グラウンド排水計画平面図
G- 15	排水詳細図－ 1
G- 16	排水詳細図－ 2
G- 17	ターフダストロッパー詳細図
G- 18	ブルペン排水詳細図
G- 19	工事計画図
G- 20	工事計画工程表【参考図】

※図面の縮尺はA 2 版サイズによるものとする
全 20 枚

工事特記仕様書 No. 1/3

I 工 事 概 要

1. 工事名称

2. 工事場所

3. 用途地域

4. 防火地域

5. 工事種別

6. 敷地面積

7. 建物概要

1) 構 造

2) 面 積

中山公園野球場整備工事（人工芝）

岐阜県高山市山田町 地内

—

・ 防火地域

・ 準防火地域

○ 指定なし

・

○ 新 築

・ 増 築

・ 改 修

・ 耐震改修

・

32,422.33 m²

鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造

建築面積：1,042.65 m² 延べ面積：1,783.79 m²

グラウンド面積

内野黒土

： 3,859 m²

：

外野人工芝

： 8,676 m²

：

：

：

：

：

3) 工事内容

グラウンド舗装工事、排水工事、野球施設整備工事

8. 別途工事

○電気設備工事

○機械設備工事

○建築工事

※本工事の工期は設備工事の工期と工事検査期間としての14日を含んでいる。

※契約締結後 14 日以内に実施工程表を提出する。

9. 消防法に基づく防火対象物

消防法施行令別表一

(7) 項

II 建 築 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) この特記仕様書、図面及び現場説明書（質疑応答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（R7年版）〔以下「標仕」という〕、公共建築改修工事標準仕様書（R7年版）〔以下「改標仕」という〕、公共建築木造工事標準仕様書（R7年版）、岐阜県建設工事共通仕様書、土木工事標準積算基準書（R8年版）による。

電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

(2) 設計図書間に相違がある場合の優先順位は次による。

1) 質疑回答書

2) 現場説明書

3) 特記仕様書

4) 標準特記仕様書（添付された場合に限る）

5) 図面

6) 標仕

7) 改標仕

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○ 印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○ 印と⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の（別 ）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。

(6) ⊕ 印は「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章

①

一般共通事項

①

⑨

施工中の安全確保及び環境保全

※次の工種の工事の工事を施工する場合は、工事車両の通行する各所に保安員を配置して（1.3.7）通行者の安全確保を図る。

・仮設工事 ・コンクリート工事 ・鉄骨工事

○主要資材の搬入搬出が頻繁に行われる時 ○その他必要と認められる時

10

発生材の処理等

産業廃棄物の適正処理について

受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現場確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分場に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。

※引き渡しを要するもの（ ・金属類 ・PCB含有物 ）

・特別管理産業廃棄物（※廃石綿）

・現場にて再利用を図るもの（ ）

・再生資材の活用を図るもの（ ）

・アスベスト成型板としての処理を要するもの

※解体特記による

・PCB含有シーリング材の分析調査

・第一次調査

現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う

採取箇所数（計 箇所）

採取場所（※図示 ）

・第二次調査

専門分析機関にてPCB含有の分析を行う

分析個数（計 個）

・除去処理工事

撤去工法 「標準施工要領書（日本シーリング工業共同組合連合会/日本日本シーリング材工業会）」による。

除去範囲（※図示 ・ ）

※建設副産物情報交換システム

本工事は、建設副産物情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、請負者は、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。監督職員への報告（提出）はシステムにより作成した〔再資源利用計画書（実施書）〕及び〔再資源利用促進計画書（実施書）〕により行うものとする。

本工事の施工にあたっては「建築工事における建設副産物管理マニュアル」を参考に適切な処理に努めるものとする。

※特定建設資材の再資源化等

本工事が、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法第104条 以下「建設リサイクル法」という。）施行令又は、都道府県が条例で定める建設工事等であって、その規模に関する基準以上の工事（以下「対象工事」という。）である場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずるものとする。

また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等完了した年月日、再資源化をとしたしせつの名称及び所在地、再資源化に要した費用を書面に監督職員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（平成14年5月）」に定めた様式1〔再資源利用計画書（実施書）〕及び様式2〔再資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。

本工事が、「建設リサイクル法」の対象工事外である場合においても前記に準じ適切な措置を講ずるものとする。

11

既存部分への措置

工事の施工に伴い、既存築造物部分、工事目的物の施工済み部分等に汚染又は損傷を与えた場合は、請負者の責任において構造及び仕上げを原型に復旧する。

12

材料の品質等

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、J I S及びJ A Sマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。

ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

仕様資材（木材）について

本工事において使用する木材は、岐阜証明材推進制度実施要領（平成19年1月24日付県流第463号林政部長通知。以下「要領」という。）第12条により証明された木材を使用すること。

ただし、岐阜証明材推進制度による証明運用開始（平成19年4月1日）前に出荷等されている木材で、岐阜県産材認証制度要綱（平成13年8月1日森第351号農山村整備局長通知。平成19年3月31日付で廃止。）第8条による認証を受けたものについては、要領第12条により証明されたものとみなす。

13

環境への配慮

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1）から5）を満たすものとする。

1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

3）接着剤はフタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

章

①

一般共通事項

①

⑭

特別な材料の工法

15 技能士

5）1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

規制対象外

①J I S及びJ A SのF☆☆☆規格品

②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品

③下記表示のあるJAS規格品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用

d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

第三種

①J I S及びJ A SのF☆☆☆規格品

②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品

③旧J I SのE○規格品

④旧J A SのF○規格品

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

①

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

監督員の指示による

(1.5.5)

監督員の指示による

(1.5.7)

※施工計画調査

本工事当該部位及び関連部位について既存施設（埋設配管等を含む）について事前調査、情報収集を行う。

・埋設配管の試掘 ※行わない ・行う（範囲、復旧方法 ・図示 ・ ）

・外壁改修施工数量調査

調査範囲 ・全面 ・図示

調査項目 ・ひび割れ部

(幅0.2mm未満、0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上)

・はがれ及び剥落部、浮き部

・シーリング剥離等

・

調査方法 目視及びミリスケール等

足場 ※「2章仮設工事1足場」による

・防水改修施工数量調査

調査範囲 ・全面 ・図示

調査項目 ・図示

調査方法 ・図示

報告書 監督職員に3部提出する（立面図等に記載、必要に応じ写真を添付）

調査業者 外壁、防水については、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。

○ レベル、配管取合い（別途工事との調整）

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

適用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 R4年版）

○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

・建築物解体工事共通仕様書、同解説（R4年版）

②

工事実績データ作成

工事実績データの作成、登録（請負金額500万円以上の場合をいう）受注時又は変更時において、工事実績情報サービス（CORINS）入力システム（（財）日本建設情報総合センター）に基づき、受注、変更、完成後10日以内に、訂正時は適宜、登録機関に登録申請しなければならない。（ただし、工事請負金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。また、（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は変更時の提出を省略できる。

③

概成工事

・総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。

④

品質計画

・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。（1.2.2）

※風速（Vo＝ 30 ）

※地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ）

・積雪区分 告示第1455号 別表（ ）1.2m（1.2.2）

⑤

施工計画書
施工図等

※次に該当する工事の施工計画書、施工図等を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。

・仮設工事 ・鉄骨ﾌﾟﾚｽ工事 ・増設RC壁設置工事 ・柱打増し工事 ・スリット設置工事 ・撤去工事

・土工事 ・地業工事（地盤改良含む） ・鉄筋工事 ・コンクリート工事 ・鉄骨工事 ・ALCﾊﾞﾈﾙ工事

・防水工事 ・石、ﾀｲﾙ左官工事 ・木工事 ・屋根及びとい工事 ・金属工事 ・建具工事 ・塗装工事

・内外装工事 ・エﾋﾄ工事 ・外構工事 ・解体工事 ・耐震工事 ・ﾌｧﾍﾞﾘ処理 ○専門工事

○その他監督員の指示するもの

⑥

施工管理技術者

※ 適用する ・ 適用しない（1.3.2）

7

電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。（1.3.3）

8

条件明示項目

・要 ・不要（1.3.5）

工事名

中山公園野球場整備工事（人工芝）

図 名

特記仕様書-1

縮 尺

—

番 号

20 枚の内 G-01号

設 計
年 月 日

令和8年7月

設 計

株式会社 斐太プランニング
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高 山 市

工事特記仕様書 No. 2/3

章

項

特記事項

①

19

化学物質の濃度測定

下記化学物質について厚生労働省の指針値以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に報告すること。

又、濃度が基準値以上だった場合は、請負業者が直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用は全て請負者の負担とする。

測定対象化学物質	厚生省の指針値(25℃の場合)
ホルムアルデヒド	100 μg/m3 (0.08ppm) 以下
トルエン	260 μg/m3 (0.07ppm) 以下
キシレン	200 μg/m3 (0.05ppm) 以下
パラジクロロベンゼン	240 μg/m3 (0.04ppm) 以下
スチレン	220 μg/m3 (0.05ppm) 以下
エチルベンゼン	3800 μg/m3 (0.88ppm) 以下

検査確認場所
測定箇所数 図示

測定回数 着工前 着工後 1回以上

測定方法 ※パッシブ採取による蒸気拡散式分析法 厚生労働省の標準法

換気 測定対象室を30分間換気した後、すべて窓及び扉を5時間閉鎖する。
ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は開放したままとする。

測定 測定は、次のいから口による。
イ) 測定は、「閉鎖」の状態のままで行う。
ロ) 測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定(10時30分～18時30分)とする。
測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。

完成時の提出書類

○高山市ホームページに指定する。
○完成図(施工図、施工計画書を除く) ※新規に作成 既存完成図を修正
記載内容について、監督職員と協議する。
完成図CADデータ(CD-R)
○保全に関する資料(提出部数 ※2部 各 部)
○施工図
本工事に係る施工図の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。
提出部数は、施工図の原図及びその縮画複写図(1部)とする。ただし、製作図で原図として提出ができないものは、原図にかわるものとしてよい。

完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)
○カラー ※キャビネ版 ※べた焼 (他に外観正見1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)	外部() 内部()	※2 6	※100×125以上
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部() 内部(各室2) その他監督職員の指示による	※2	
○電子データ	外部() 内部()	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、GD-Rにて提出とする。
撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

設備工事との取合い

設計GL

工事写真

設備機器の位置、取り合い等が検計できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

※図示 設計GL＝現状GL

・「営繕工事電子納品要領(令和3年改訂版)」による。

②

1

工事現場仮囲い

現場仮囲い ナイロンロープ張り 木製仮囲い 鋼製仮囲い しない

監督員事務所(2.3.1)

監督員事務所の概要
・設ける(㎡程度) ○設けない
・備品等(冷房 暖房 冷暖房 机、椅子 WiFi通信)

受注者事務所等

○敷地内へ建てることできる。 できない

工事用水(2.3.1)

構内既存の施設
・有償で利用できる 無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

工事用電力

構内既存の施設
・有償で利用できる 無償で利用できる ○利用できない

引渡しまでの光熱水費

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 別途

安全対策

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

足場その他(2.2.4)

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

現況確認

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

工事現場の表示(2.3.1)

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

③

1

埋戻し及び盛土(3.2.3)(表3.2.1)

種別 A種 ※B種 C種 D種
リサイクルプラントが販売する処理土
D種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う。

※構外搬出適切処理(※資源化処理施設へ搬入する) 構内指示の場所に敷きならし 構外指示の場所に堆積

○当該工事により発生する建設発生土は、次の公の関与する埋立地に搬出するものとする。
搬出場所 関係法令等に従い、適切に処理する公の関与する埋立地に搬出するものとする。
搬出先は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を報告書にまとめ監督員に提出する。

○残土処分地：高山市前原町363 大山土木(株)所有地
(処分場を変更する場合は監督員と協議すること。)

②

2

建設発生土の処理(3.2.5)

③

3

建設発生土処分先(3.2.5)

4

1

基礎

基礎の種類 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 構造設計標準仕様書 4章(1)直接基礎による
※直接基礎(地盤改良(表層改良 鋼管改良 柱状改良))
支持地盤の位置及び種類(ラッフルコンクリートの底面位置含む)
※構造図による
支持地盤の設計地耐力 KN/㎡
杭基礎 構造設計標準仕様書 4章(2)杭基礎による
支持地盤の位置及び種類(基礎ぐいの先端位置含む)
※構造図による(試験杭位置含む)

試験杭 位置、本数及び寸法 最初の1本 図示による
杭の載荷試験 ※行わない 図示による
地盤の載荷試験 ※行わない 図示による

設計支持力 KN/本(φ)
杭地業
支持力の算定方法 ※平成13年国土交通省告示第1113号による。
支持地盤の位置及び種類 ※図示による
杭の水平方向への位置ずれの精度 ※図示による

杭の種類	記号	種類	規格・材質	長さ(m)	断面寸法(mm)	長期設計支持力(KN/本)
杭の種類	PHC杭	遠心力高強度プレストレストコンクリート杭	JIS規格品 評価品			
規格・材質	A種 B種 C種					
長さ						
断面寸法						
長期設計支持力						
継手	なし	あり(箇所)				
工法	アーク溶接	無溶接継手()				
先端部形状及び形状	開放形	閉鎖平坦形状				

杭頭処理 ※行わない 行う
工法
・セメントミルク工法
支持地盤への掘削深さ m 根入れ深さ m
・特定埋込杭工法 定められた条件に基づく責任施工とする。
・プレボーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・回転根固め工法

4

2

試験及び報告書(4.2.2～4.2.4)

3

3

既製コンクリート(4.3.2)(4.3.6)

4

4

場所打ちコンクリート杭地業(4.5.1)(4.5.2)(4.5.4)

施工管理技術者 ※適用する
工法
・アースドリル工法
・オールケーシング工法
・掘削杭工法
・掘削杭工法

鉄筋の種類
帯筋
最小かぶり厚さ
設計基準強度 N/mm²
コンクリートの種類
構造体強度補正值(S)
孔壁の超音波測定

厚さ(mm) ※60
材料
・100
・構造設計標準仕様書 4章(4)各部の地業による
・直接基礎
・その他
・構造設計標準仕様書 4章(4)各部の地業による

厚さ(mm) ※50
材料
・30
・構造設計標準仕様書 4章(4)各部の地業による

材料
・ポリエチレンフィルム 厚さ(mm) ※0.15 mm

断熱材
※19章「内装工事」9項「断熱材」による。

5

5

砂利及び砂地業(4.6.3)(4.6.2)

6

6

捨コンクリート地業(4.6.4)

7

7

床下防湿層(4.6.5)

8

8

断熱材

5

1

鉄筋の種類(表5.2.1)

※JIS G 3112 のJIS表示認証製品
鉄筋の種類 下記表による 構造設計標準仕様書 2章(3)鉄筋の表による

種類	種類	径(mm)
異形鉄筋	SD295A	D10以上
	SD295B	
	SD345	
	SR235	
丸鋼		

2

2

溶接金網(5.2.2)

※JIS G 3551 のJIS表示認証製品
溶接金網 下記による 構造設計標準仕様書 2章(3)鉄筋の表による
網目の形状、寸法及び径

5

3

鉄筋工事

柱・梁の鉄筋の継手(5.3.4)

梁貫通孔補強

圧接完了後の検査(5.4.9)

柱の帯筋

鉄筋の継手
・構造設計標準仕様書 2章(3)鉄筋の表による
・ガス圧接(SD295Aは不可)
※鉄筋工事仕様書による。
・重ね継手
・機械式継手
・溶接継手
・各部配筋参考図

貫通孔補強
※鉄筋工事仕様書による。
・各部配筋参考図

検査方法
※超音波深傷試験
・引張試験

柱の帯筋
・構造設計標準仕様書 5章(2)柱の帯筋(H00P)の加工方法による
・組み立ての形はSP形とする。(鉄筋工事仕様書による)
・H型(タガ型) W型(溶接型) I形 II形 III形
・丸形

6

1

コンクリートの強度(6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)

設計基準強度 Fc(N/mm²)

スランブ(cm)

適用箇所

※21

18

21

15

6

2

コンクリートの種類(6.2.1)(表6.2.1)

3

3

水セメント比(6.3.2)

4

4

コンクリート中の塩化物量(6.3.2)

5

5

コンクリートのアルカリ総量(6.5.4)

6

6

コンクリートの仕上り(6.2.5)(表6.2.3)(6.9.6)

種別

せき板の種類

表面・せき板の程度

適用箇所

・A種 JAS(表面加工品) 表6.2.4 ※図示

※B種 JAS B-C 表6.2.4

・C種 JAS B-C 表6.2.4

7

7

コンクリートの材料(6.3.1)

セメント ※普通ポルトランドセメント 混合セメントA種
混和材料 ※AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤(JIS A6204)
※フライアッシュ(JIS A6201)I種、II種若しくはIV種
※高炉スラグ微粉末(JIS A6206)
※シリカフューム(JIS A6207)又は膨脹材(JIS A6202)

8

8

コンクリート製造工場の選定(6.4.1)

9

9

強度(6.3.2)(表6.3.2)

構造体強度補正值 S(N/mm²)

セメント	地域	4～10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
普通ポルトランドセメント	一般地域	3.0						6.0				3.0	
早強ポルトランドセメント	北部地域	3.0						6.0				3.0	
	その他	3.0						6.0				3.0	

・一般地域：
・北部地域：
・その他：

10

10

暑中コンクリート(6.12.1～6.12.4)

11

11

寒中コンクリート(6.11.1～6.11.6)

工事名

中山公園野球場整備工事(人工芝)

図名

特記仕様書-2

縮尺

—

番号

20枚の内 G-02号

設計年月日

令和8年7月

設計

株式会社 斐太プランニング
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高山市

工事特記仕様書 No. 3/3

章

項

特記事項

24追記事項

1建設機械

1) 本工事においては、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成16年9月24日国土交通省告示第1151号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。
2) 本工事においては、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日建設省経機発第249号、最終改正 平成14年4月1日国総施第225号)」に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」又はこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。
排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

2

軽微な変更等

現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない

3

下請契約

本工事において、下請契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」(平成30年4月1日施行)に基づき、当該契約の相手方を高山市内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。
下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。

4

事故報告

工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。

5

重点監督対象工事

当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いによるものとする。

6

経年検査

建築竣工引渡後1年が経過した時点において係員立合のもとで1年検査を行い、工事不良の発生じたと認められる損害等についても、係員の指示に従い改修しなければならない。
なお、その費用については請負者の負担とする。

7

損害保険

工事中出来高部分と工事現場に搬入した工事材料・建築設備の機器などに火災保険または建設工事保険を付し、その証券の写しを監督職員に提出する。
1) 損害の補填条件
a. 火災、落雷、爆発又は破裂
b. 台風、旋風、暴風、暴風雨の風災
2) 保険金
原則として請負金額とする。
3) 保険の期間
保険の加入の時期は、原則として工事着工のときとし、終期は工事成完了後15日までとする。
4) 協議
この取扱いにより難しい事項については、必要に応じて請負者は、監督職員と協議するものとする。

8

実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、事前に計画書を提出し監督職員の確認を得た上で実施し、実施後に実施報告を提出することができる。

9

工事着手前協議について

1) 本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。
2) 協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。
3) 協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。
4) 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答(その他)欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人(主任技術者)が受け取ること。

10

電子メールの利用

本工事の施工中における受発注者間の情報共有は、電子メールを利用すること。運用にあたっては、「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。

11

ディーゼルエンジンの車両の適正燃料の使用について

1) ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。
2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。

12

工事書類の簡素化

1) 実施にあたっては「工事書類簡素化要領」(技191号平成22年6月30日改正)に基づいて実施すること。

13

提出書類等

高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。

14

施工中の安全確保

1) 「建築基準法」「労働安全衛生法」その他関係法令等に定めるところによるほか、「建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編」に従うとともに「建築工事安全施工技術基準指針」を参考に施工に伴う災害及び事故の防止に努める。
2) 安全委員会の組織を構成するとともに、「日常活動(安全朝礼・ミーティング・KY活動 工事打合せ等)」及び「月例行事(安全パトロール・安全協議会・安全大会等)」の実施と記録を行う。

15

別途工事

工事期間中に建築工事、電気設備工事、機械設備工事等の別途工事を伴うため、各施工業者と綿密に調整を行うこと。

16

休日

本工事は、完全週休2日制(土日)を原則とした、週休2日制工事(現場閉所)です。
詳細は「高山市発注の建設工事に係る完全週休2日制(土日)工事実施要領」を参照してください。

章

項

特記事項

24追記事項

17人工芝

○仕様

ロングバイル人工芝舗装仕様
本工事で使用する人工芝は以下の仕様を全て満たすものとする。

項目	性能	
人工芝	バイル長さ	約70mm(伸ばした状態)
	バイル素材	特殊ポリエチレン
	バイル形状	ダイヤモンド形状 特殊カール(捲縮)加工モノフィラメント
	バイル厚	約365ミクロン(芯入り形状不可)
	基布	ポリプロピレン
充填材	バックング	SBRラテックスコーティング
	厚み	35mm ±15%以内
	砂	野球用特殊調整珪砂
アンダーパッド	弾性材	ネオフィル(自然素材チップ)
	厚み	10mm ±10%以内
	材質	XCカット入りポリエチレン+不織布
施工	ジョイント処理(主要部)	ミシン縫い施工(人工芝反物接合部とし、ライン部及びカット部の接合は別とする)
実績	・メーカーとして自然素材チップにて6,000㎡以上の実績を10面以上、有すること。(2026年3月時点)	

※使用する材料はサンプルを提出し、監督員の承認を得た製品を使用すること。
※野球ボールの転がり、バウンド、白球見やすさの観点からカール(捲縮)加工した人工芝を採用すること。
※自然素材チップの材料は市内実績である大八グラウンドと同じ仕様のもの(ブレンド)とし、共用可能なものとする。

○施工管理

登録運動施設基幹技能者の配置について
(一社)日本運動施設建設業協会の認定する「登録運動施設基幹技能者」を常駐させ、出来形管理及び品質管理を行うこと。

○人工芝の充填材について

請負者の負担において、概ね2年経過時を目途に点検を実施し、充填材の追加及び全面不陸調整の再施工を実施すること。

○路盤の平坦性確保

メーカー承認図および施工計画書において下記の事項を明確にし、監督員協議の上、施工を行うこと。

- ・管理基準値
- ・転圧等施工方法
- ・計測方法(3mプロフィルメータ法、3m直線定規測定法など)

○排水性能の確保

雨水を速やかにフィールド外へ排水することが可能な性能を有すること

18グラウンド排水

製品	メーカー名	仕様
人工芝	アストロススポーツ株式会社 施工代理店: 日本フィールドシステム	アストロピッチDS BBN
ホームベース	ルイ高	硬質ゴム製
塁ベース	ルイ高	塩ビ外皮、ウレタン注入式
ピッチャープレート	ルイ高	2段式 黒ゴム仕様
コーナーポイント	ルイ高	ポリエチレンロープ
ファールボール	ルイ高	網付き(黄橙)
グラウンド排水	日本フィールドシステム	

19参考メーカー

工事区分表

発注別による各工事は、着工に先立ち、構造・仕上・工程等を十分に検討調整した後に、それぞれの工事内容を把握し下記に○印を付したものを適用して施工する。

番号	項目	建築	外構	電気	機械	人工芝	別途	備考
1	グ/外・配管・配線等の躯体貫通刈-ブ工事			○	○			
2	同上開口補強工事	○						
3	同上穴補修工事			○	○			
4	設備機器取付け箇所の壁穴あけ			○	○			
5	設備機器取付け箇所の天井穴あけ			○	○			
6	同上の補強	○						
7	一般天井、壁の開口及び補強工事	○						
8	天井、床、PSの点検口	○						補強共(使用目的標示ラベル貼付)
9	設備機械用コンクリート基礎	○						取付金具は、各機器設置工事
10	煙感知器連動防火扉							
11	同上のレリーズ以外の設備機器類のすべて							
12	同上の電源供給配線配管							
13	防火区画貫通の防火処理			○	○			
14	ルーフトロリン	○						
15	縦樋	○						排水管継手は専門職施工
16	同上の排水工事				○			
17	軒どい	○						
18	構内雨水側溝までの雨水排水管				○			
19	陶器製掃除流し				○			附属品一式
20	キッチンユニット・ミニキッチン				○			図面に示す一式
21	同上の設備配管配線工事			○	○			
22	汚物・掃除用流し				○			
23	深型及び浅型ステンレス製流し	○						配管との接続は機械工事
24	シャワーユニット				○			
25	同上の設備配管配線工事				○			
26	階段及び外部手摺	○						
27	洗濯機パン							
28	製氷機、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫等家電製品							
29	大型・特殊鏡	○						
30	鏡				○			一般品
31	小屋裏等の換気グリ	○						
32	シャ-ユニット・わ/を除く天井換気扇及びパイプフード				○			
33	冷暖房用電気エアコン				○			
34	ガス漏れ感知器本体及び遮断弁							認定品
35	同上のコンセント及び配管配線							
36	屋内消火栓ボックス(消火器スペース共)							認定品
37	同上設置の表示灯、発信機							
38	消火器ボックス・置台	○						
39	消火器本体				○			
40	洗面器本体、洗面化粧台				○			
41	洗面器用カウンター				○			建築図の範囲
42	小便器、洗面器の電源送り				○			
43	小便器、大便器、手洗い器用手摺				○			
44	外構工事一式及び舗装工事		○					建築図の範囲
45	同上以外の設備配管埋設に伴う舗装改修工事				○			
46	雨水コンクリート水槽、雑排水ポンプ水槽工事							
47	雨水利用給排水機械(減菌装置・ポンプ)設備工事							
48	同上への電源供給							
49	エレベーター・ダムウェーター工事							
50	同上への電源供給							
51	木製建具・家具※塗装、付随するがう、金物を含む	○						木製建具・家具図に記載の範囲
52	グラندマスターキー作成	○						
53	造作家具以外の、机、椅子等什器						○	
54	カーテン、ブラインド	○						
55	付帯備品等の移設・設置、ユ-ティリ-接続工事	○						
56	同上の給排水配管工事				○			
57	雨樋の凍結防止ヒーター				○			
58	配管の凍結防止ヒーター				○			
59	ブ/ln/ズ/ハ-格納庫							ブ/ln/ズ/ズ/ハ-置場は建築工事
60	同上 基礎							
61	室外機基礎							M2F屋体上に架台設置
62	電話用配管及び配線工事				○			
63	電話機・FAX等の機器工事						○	建物までの空配管は電気工事
64	LAN用配管工事及びLAN配線				○			
65	HUB・サーバー等LAN機器工事						○	建物までの空配管は電気工事
66	電話引込工事						○	建物までの空配管は電気工事
67	CATV引込工事						○	
68	CATV加入金						○	
69	警備保障用配管、配線及び機器工事						○	
70	太陽光発電設備							
71	インターホン設備				○			
72	同上配線工事				○			
73	消防機関へ通報する火災放置設備				○			回線契約は発注者
74	人工芝工事					○		

工事名

中山公園野球場整備工事(人工芝)

図名

特記仕様書-3

縮尺

—

番号

20枚の内 G-03号

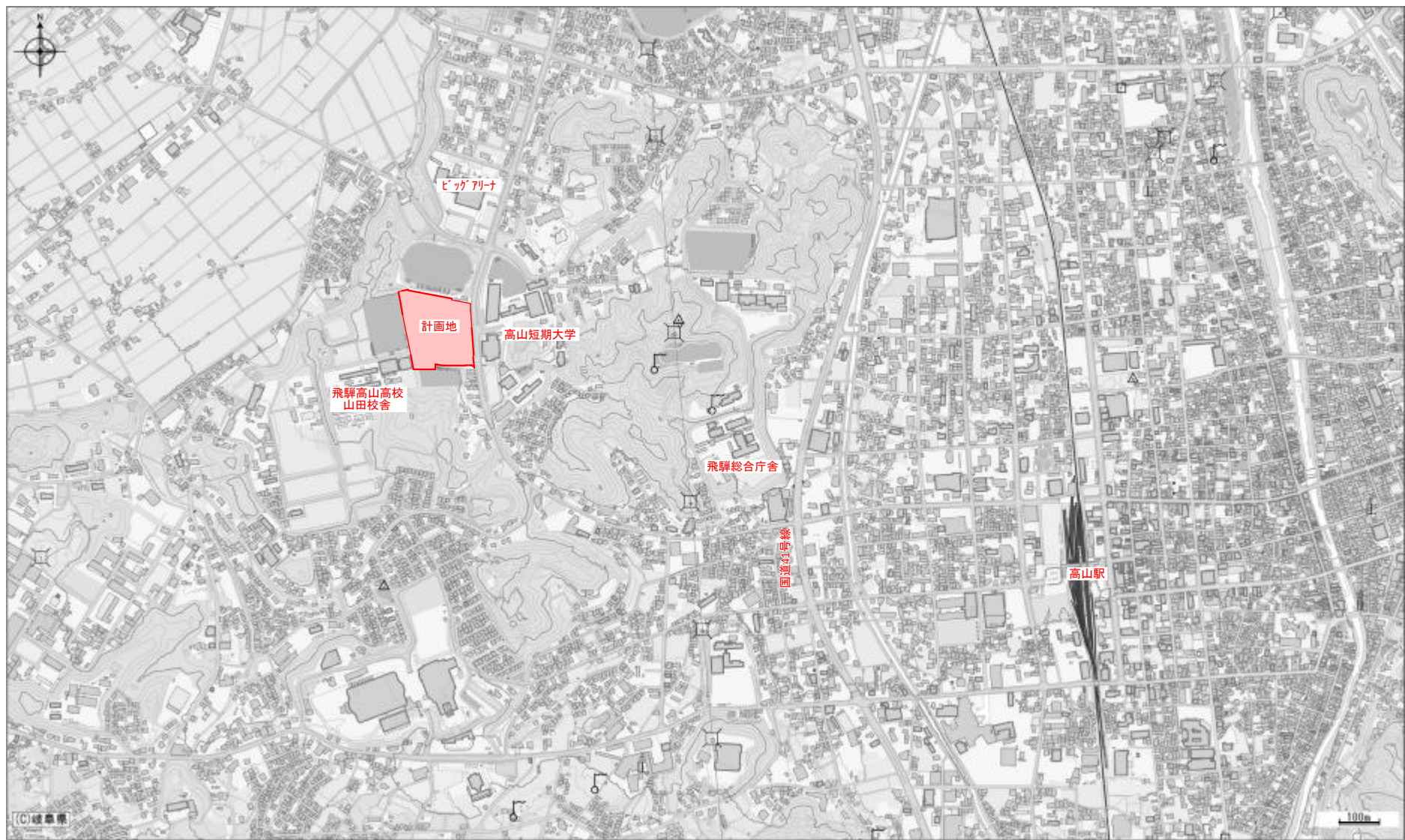
設計年月日

令和8年7月

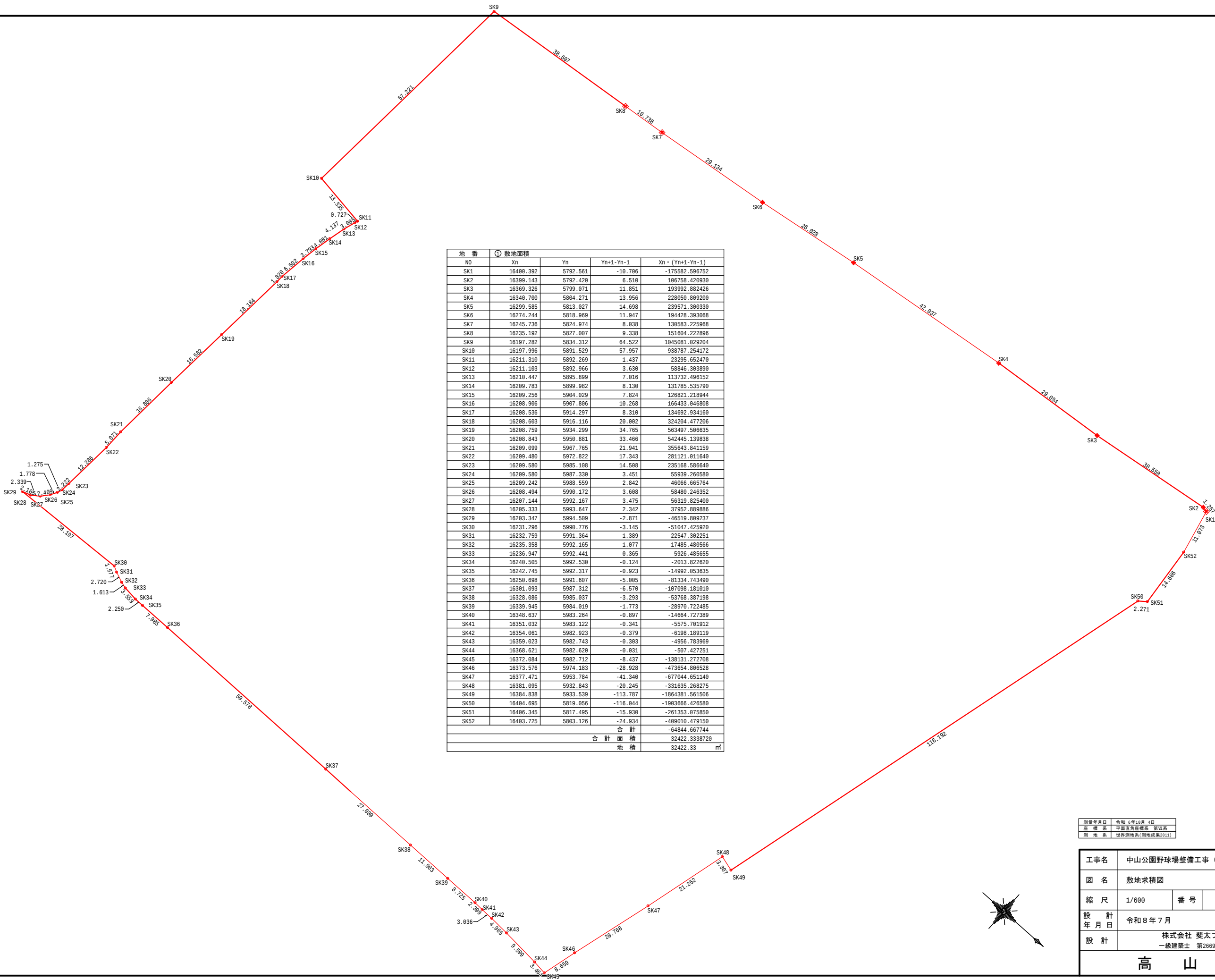
設計

株式会社 斐太プランニング
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高山市



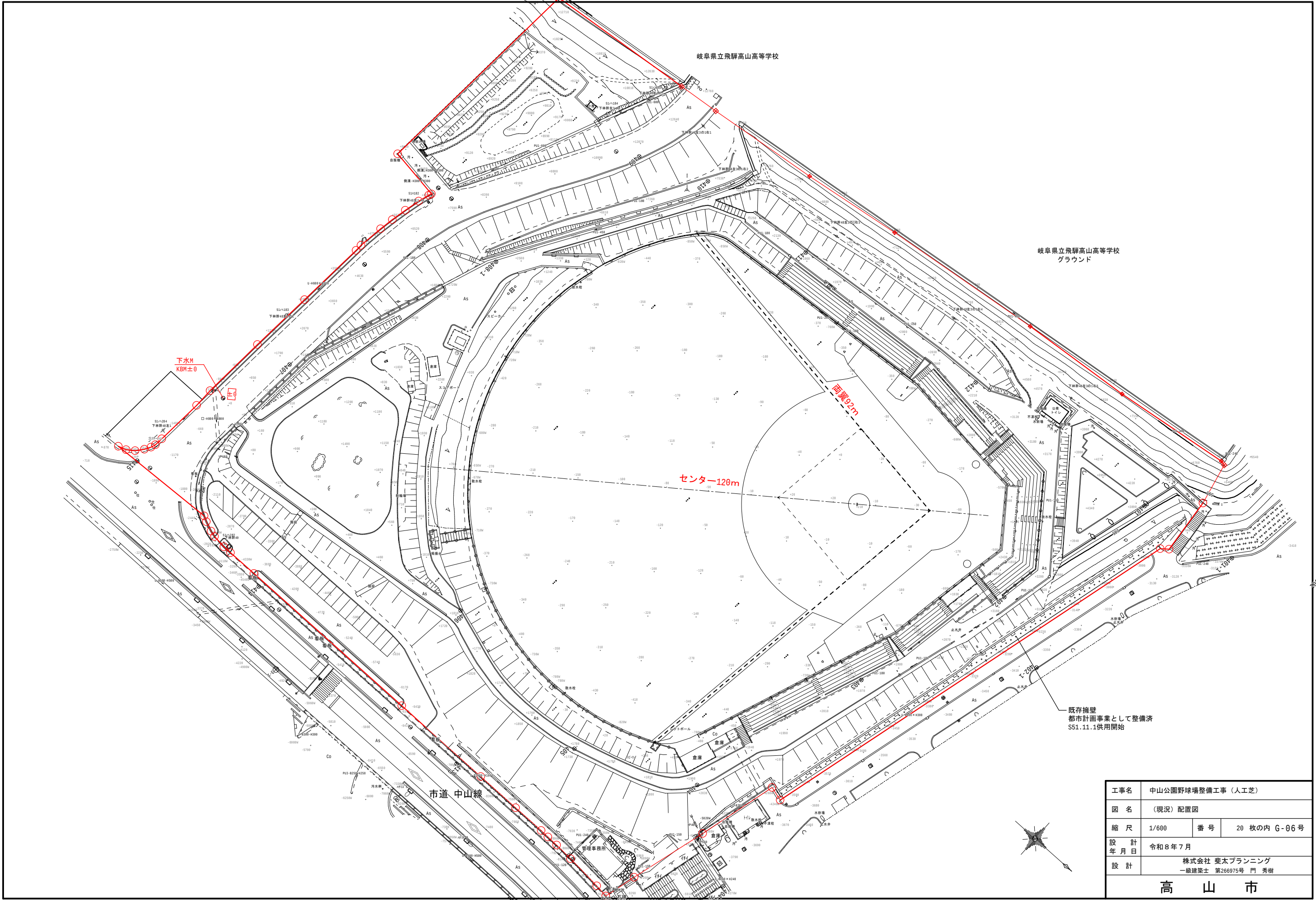
工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	案内図		
縮 尺	1/10,000	番 号	20 枚の内 G-04 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



地 番	㊦ 敷地面積			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
SK1	16400.392	5792.561	-10.706	-175582.596752
SK2	16399.143	5792.420	6.510	106758.420930
SK3	16369.326	5799.071	11.851	193992.882426
SK4	16348.700	5804.271	13.956	228050.809200
SK5	16299.585	5813.027	14.698	239571.300330
SK6	16274.244	5818.969	11.947	194428.393068
SK7	16245.736	5824.974	8.038	130583.225968
SK8	16235.192	5827.007	9.338	151604.222896
SK9	16197.282	5834.312	64.522	1045081.029284
SK10	16197.996	5891.529	57.957	938787.254172
SK11	16211.310	5892.269	1.437	23295.652470
SK12	16211.103	5892.966	3.630	58846.303890
SK13	16210.447	5895.899	7.016	113732.496152
SK14	16209.783	5899.982	8.130	131785.535790
SK15	16209.256	5904.029	7.824	126821.218944
SK16	16208.906	5907.806	10.268	166433.046808
SK17	16208.536	5914.297	8.310	134692.934160
SK18	16208.603	5916.116	20.002	324204.477206
SK19	16208.759	5934.299	34.765	563497.506635
SK20	16208.843	5950.881	33.466	542445.139838
SK21	16209.099	5967.765	21.941	355643.841159
SK22	16209.408	5972.822	17.343	281121.011640
SK23	16209.580	5985.108	14.508	235168.586640
SK24	16209.580	5987.330	3.451	55939.260580
SK25	16209.242	5988.559	2.842	46066.665764
SK26	16208.494	5990.172	3.608	58480.246352
SK27	16207.144	5992.167	3.475	56319.825400
SK28	16205.333	5993.647	2.342	37952.889886
SK29	16203.347	5994.509	-2.871	-46519.809237
SK30	16231.296	5990.776	-3.145	-51047.425920
SK31	16232.759	5991.364	1.389	22547.302251
SK32	16235.358	5992.165	1.077	17485.480566
SK33	16236.947	5992.441	0.365	5926.485655
SK34	16240.505	5992.530	-0.124	-2013.822620
SK35	16242.745	5992.317	-0.923	-14992.053635
SK36	16250.698	5991.607	-5.005	-81334.743490
SK37	16301.093	5987.312	-6.570	-107098.181010
SK38	16328.086	5985.037	-3.293	-53768.387198
SK39	16339.945	5984.019	-1.773	-28970.722485
SK40	16348.637	5983.264	-0.897	-14664.727389
SK41	16351.032	5983.122	-0.341	-5575.701912
SK42	16354.061	5982.923	-0.379	-6198.189119
SK43	16359.023	5982.743	-0.303	-4956.783969
SK44	16368.621	5982.620	-0.031	-507.427251
SK45	16372.084	5982.712	-8.437	-138131.272708
SK46	16373.576	5974.183	-28.928	-473654.806528
SK47	16377.471	5953.784	-41.340	-677044.651140
SK48	16381.095	5932.843	-20.245	-331635.268275
SK49	16384.838	5933.539	-113.787	-1864381.561506
SK50	16404.695	5819.056	-116.044	-1903666.426580
SK51	16406.345	5817.495	-15.930	-261353.075850
SK52	16403.725	5803.126	-24.934	-409010.479150
合 計				32422.338720
地 積				32422.33 m

測量年月日	令和 6 年 10 月 4 日
座 標 系	平面直角座標系 第四系
測 地 系	世界測地系(測地成果2011)

工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	敷地求積図		
縮 尺	1/600	番 号	20 枚の内 G-05 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

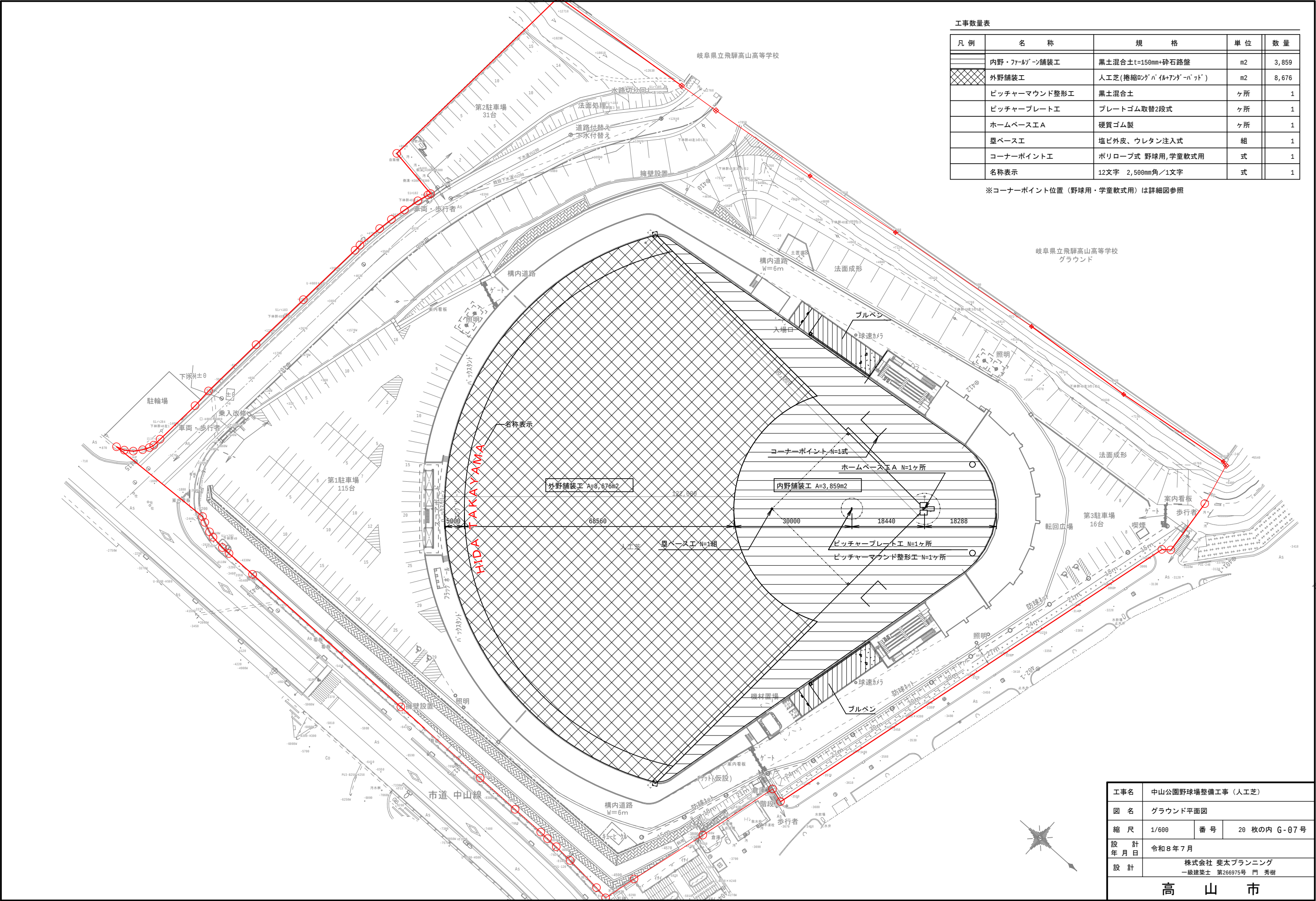


工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	（現況）配置図		
縮 尺	1/600	番 号	20 枚の内 G-06 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

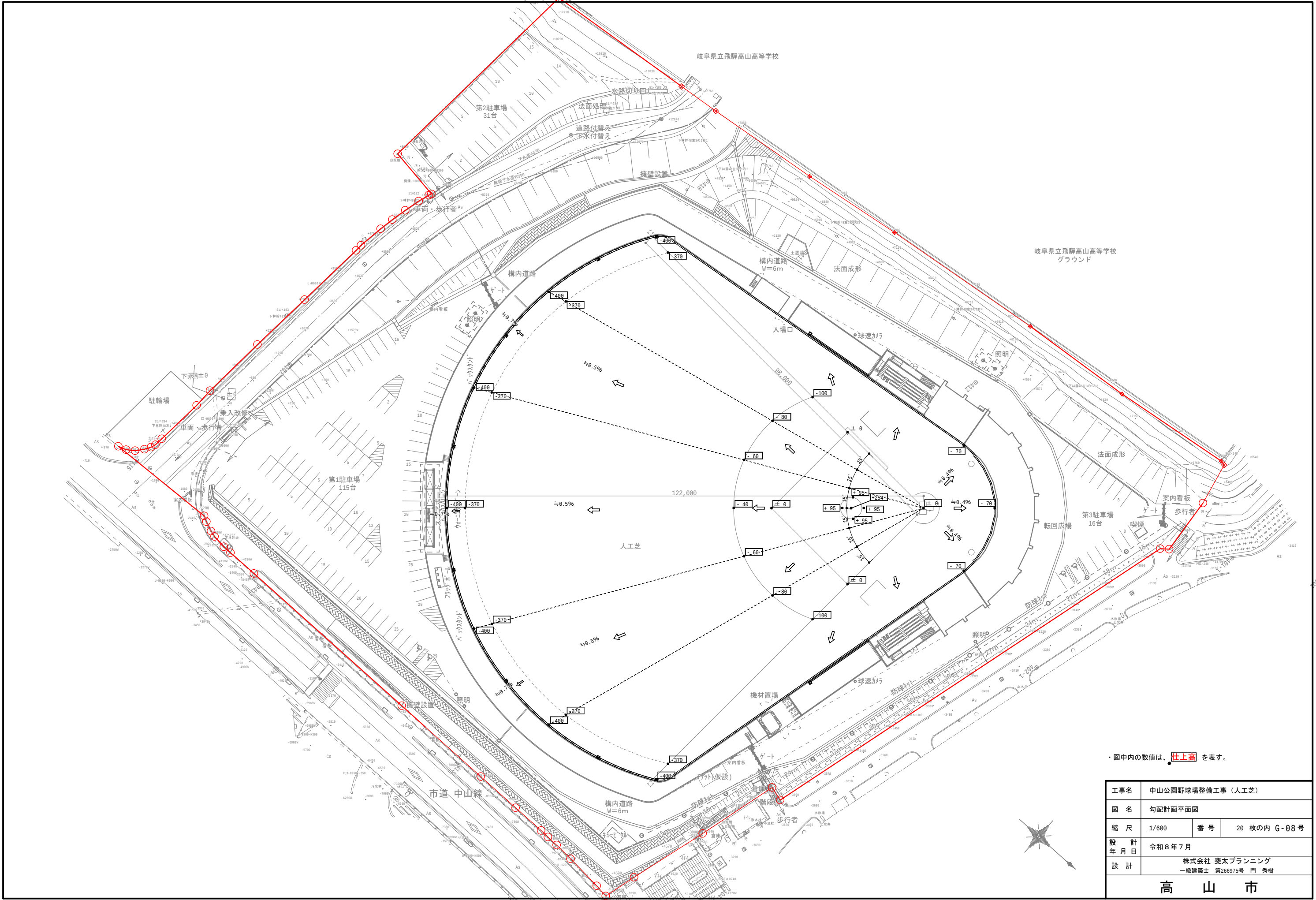
工事数量表

凡 例	名 称	規 格	単 位	数 量
	内野・フィールド舗装工	黒土混合土t=150mm+砕石路盤	m2	3,859
	外野舗装工	人工芝(捲縮ロングパイル+アンダーパッド)	m2	8,676
	ピッチャーマウンド整形工	黒土混合土	ヶ所	1
	ピッチャープレート工	プレートゴム取替2段式	ヶ所	1
	ホームベース工A	硬質ゴム製	ヶ所	1
	塁ベース工	塩ビ外皮、ウレタン注入式	組	1
	コーナースポイント工	ポリロープ式 野球用,学童軟式用	式	1
	名称表示	12文字 2,500mm角/1文字	式	1

※コーナースポイント位置（野球用・学童軟式用）は詳細図参照

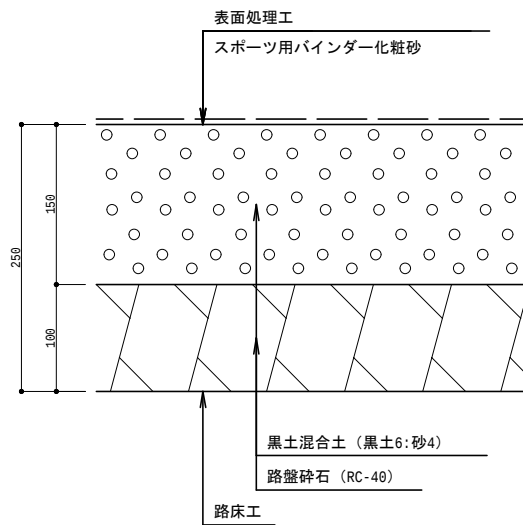


工 事 名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	グラウンド平面図		
縮 尺	1/600	番 号	20 枚の内 G-07 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

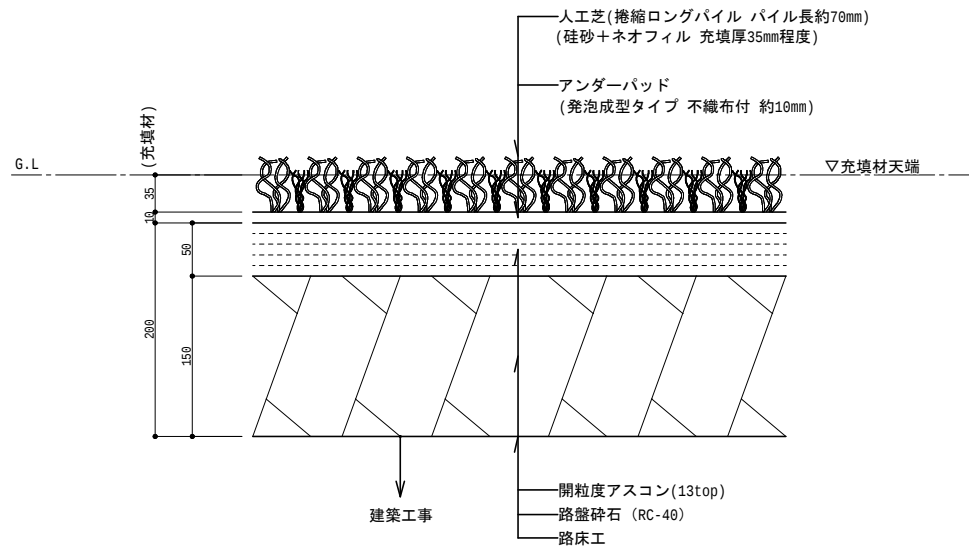


・図中内の数値は、**仕上高**を表す。

工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	勾配計画平面図		
縮 尺	1/600	番 号	20 枚の内 G-08 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



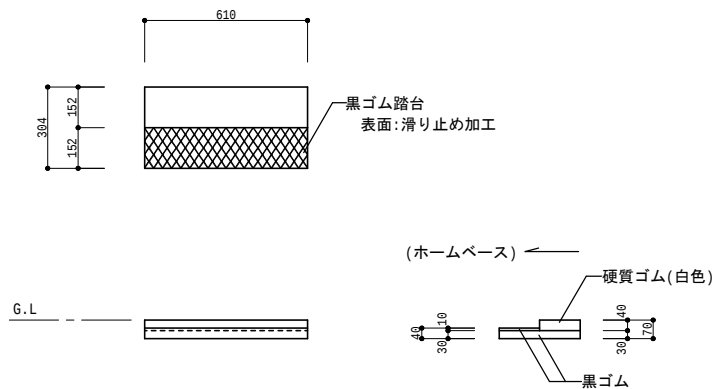
内野・ファールゾーン舗装工 断面図 S=1:5



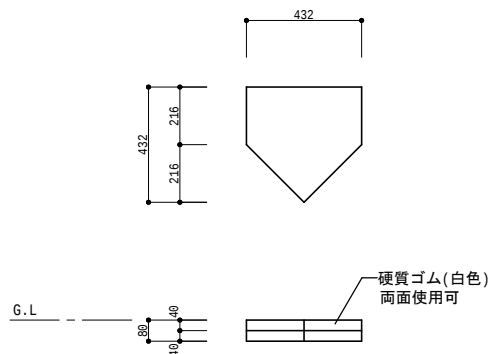
外野舗装工 断面図 S=1:5

※図面は参考形状とする
※メーカー、製品名は参考とし
同等の性能を有する仕様とする

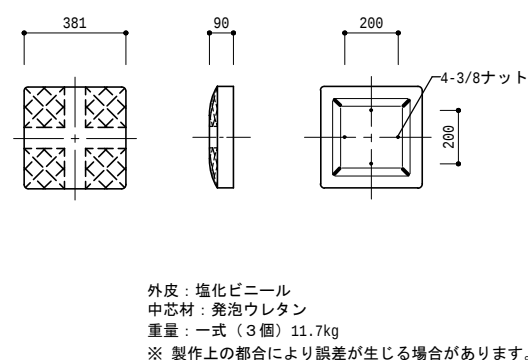
工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	舗装詳細図		
縮 尺	1:5	番 号	20 枚の内 G-09 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



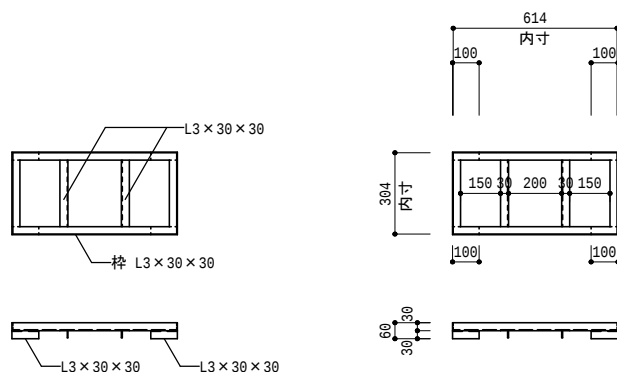
ピッチャープレート 詳細図 S=1:20



ホームベース 詳細図 S=1:20

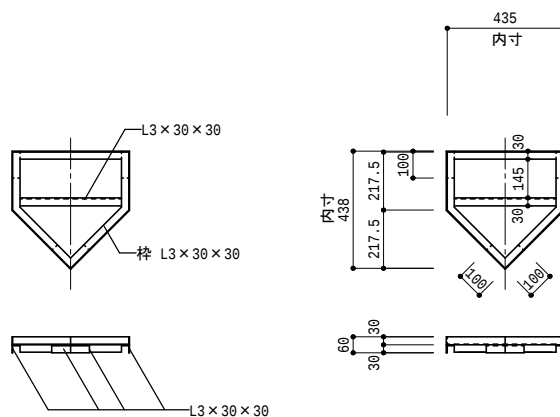


塁ベース工 詳細図 S=1:20



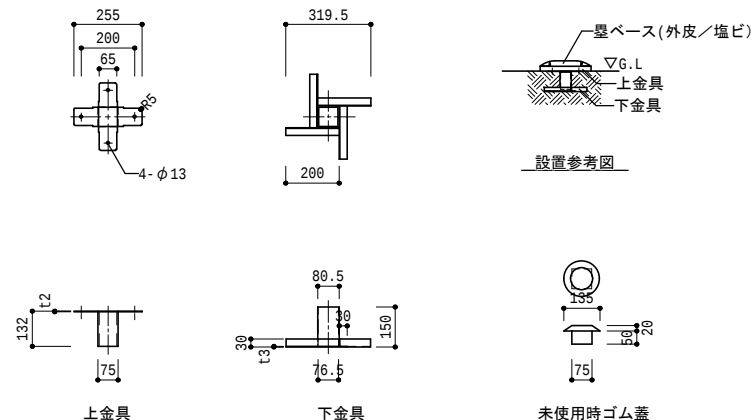
組付け

寸法図



組付け

寸法図



本体：ステンレス製（JIS G4304 SUS304）
ゴム蓋：硬質ゴム
六角ボルト：ステンレス製 3/8×L20

重量：一式（3セット）9.7kg

固定金具の設置はモルタル固定とする

ピッチャープレート固定金具 詳細図 S=1:20

ステンレス製

固定金具の設置はモルタル固定とする

ホームベース固定金具 詳細図 S=1:20

ステンレス製

固定金具の設置はモルタル固定とする

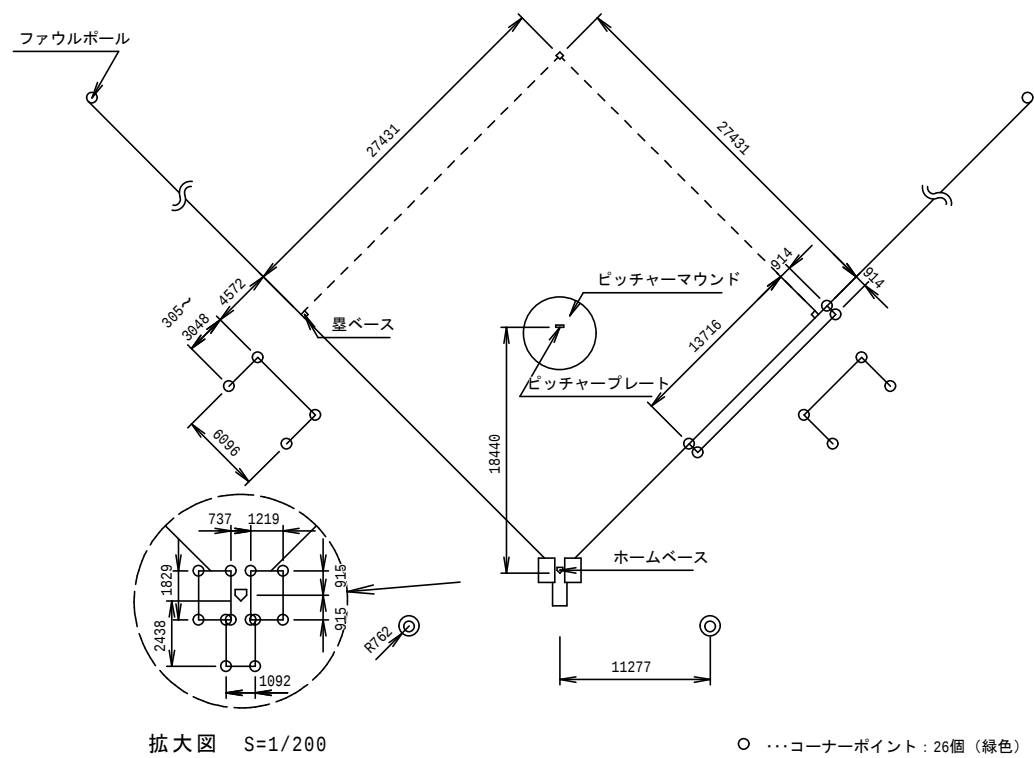
塁ベース固定金具 詳細図 S=1:20

ステンレス製

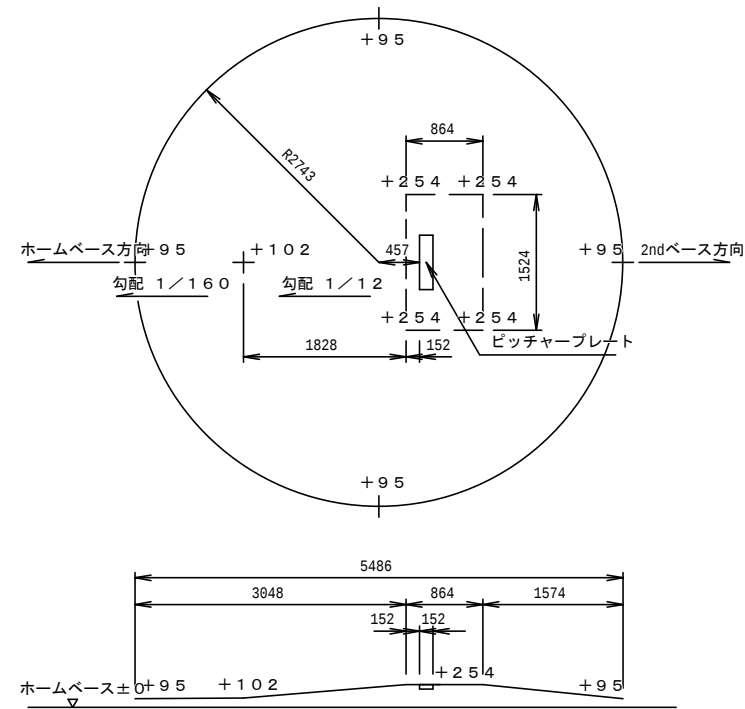
※図面は参考形状とする
※メーカー、製品名は参考とし
同等の性能を有する仕様とする
※公認野球規則による

工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	雑詳細図－1		
縮 尺	1:20	番 号	20 枚の内 G-10 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

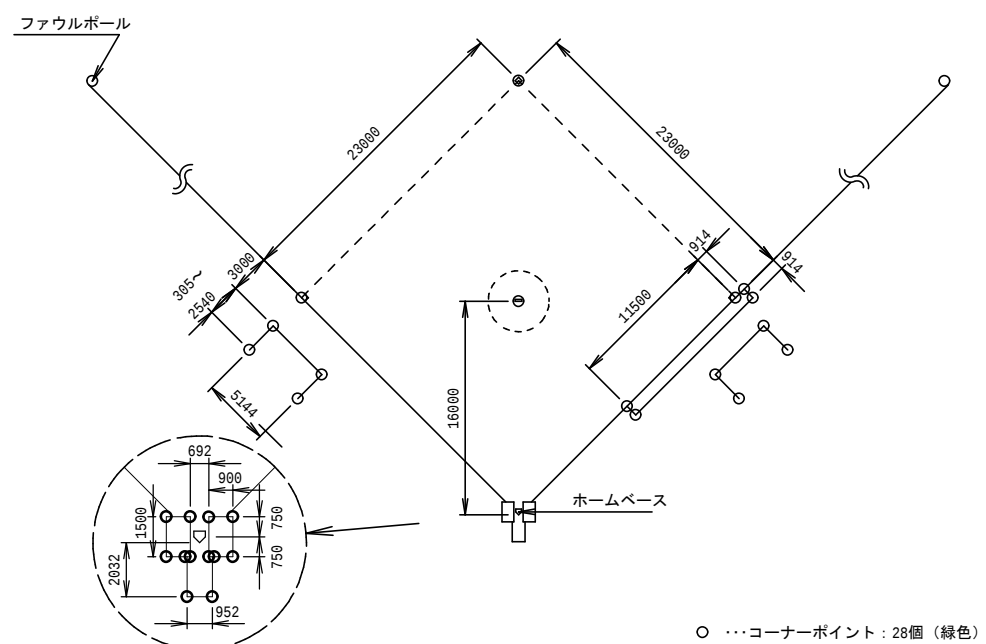
コーナーポイント位置図（野球用）S=1/400



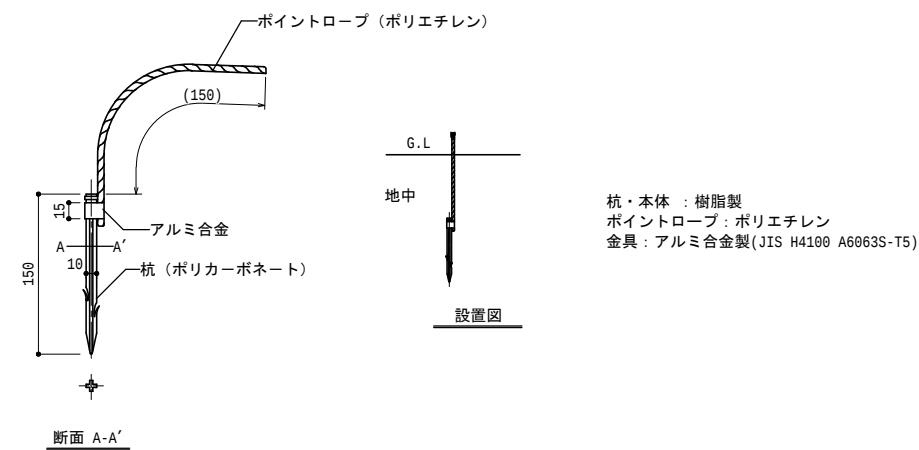
ピッチャーマウンド 寸法図 S=1/60



コーナーポイント位置図（学童軟式用）



コーナーポイント工 詳細図 S=1/5



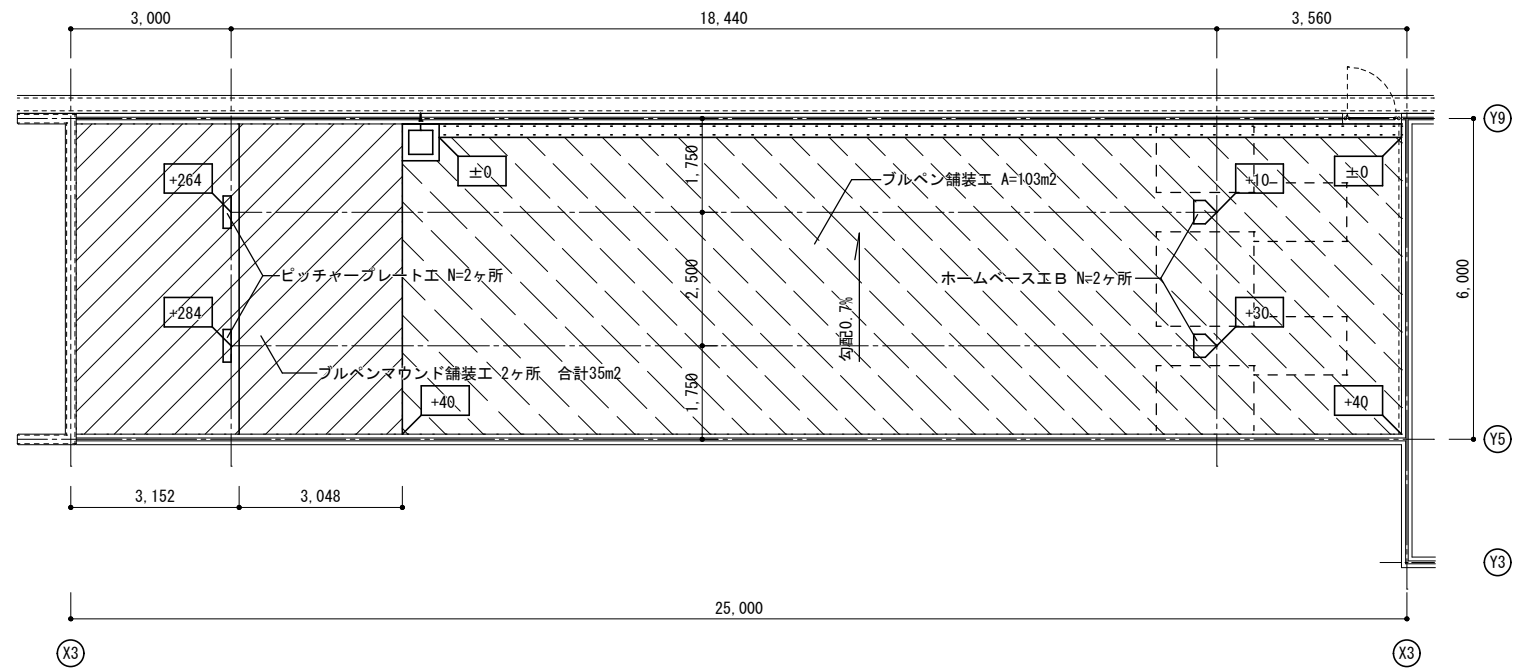
※ 表記の寸法は全日本軟式野球連盟の寸法を引用
※ 各寸法は監督職員と協議の上決定すること

※図面は参考形状とする
※メーカー、製品名は参考とし
同等の性能を有する仕様とする
※公認野球規則による

工 事 名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	雑詳細図ー2		
縮 尺	1:5、60、400	番 号	20 枚の内 G-11 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

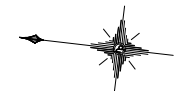


三塁側ブルペン 平面図 S=1:100

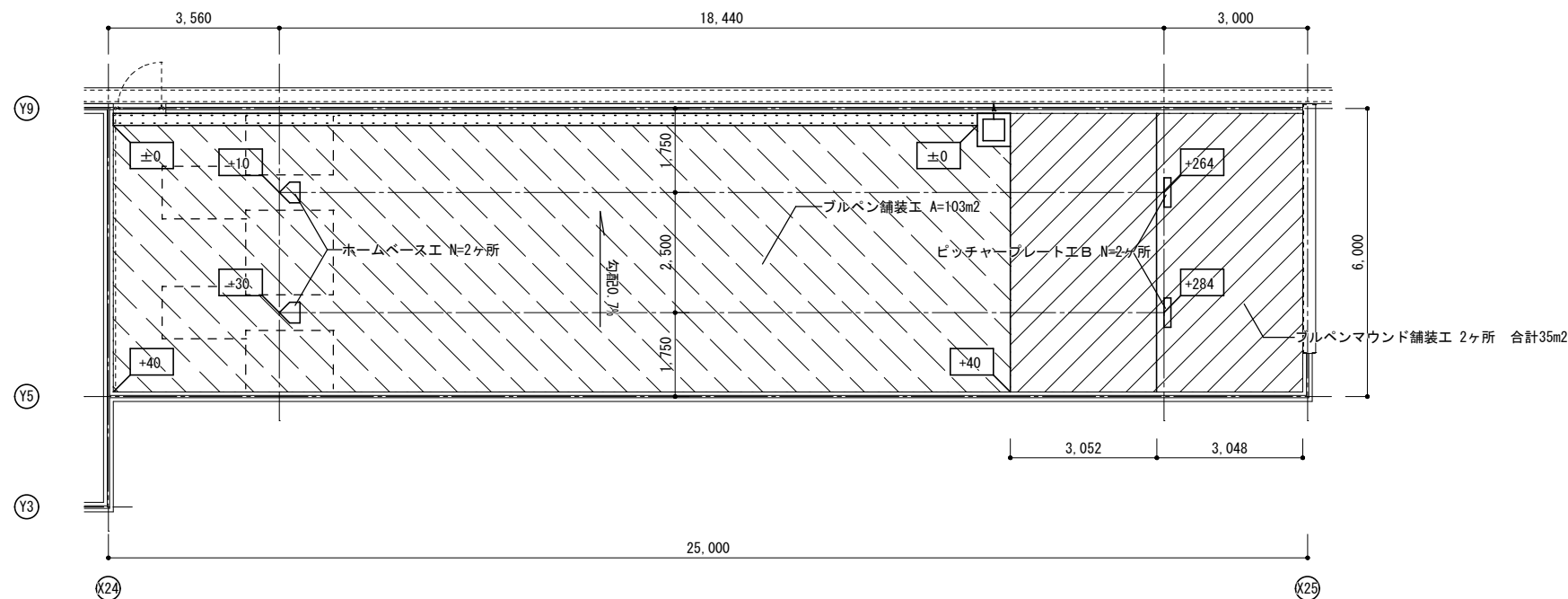


工事数量表

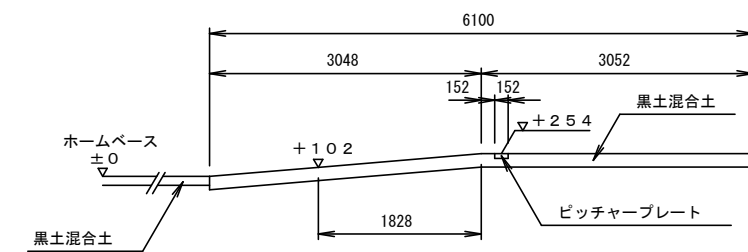
凡 例	名 称	規 格	単 位	数 量
	ブルペンマウンド舗装工	黒土混合土 t=150mm	m ²	70
	ブルペン舗装工	黒土混合土 t=100mm	m ²	206
	ピッチャープレート工	プレートゴム取替2段式	ヶ所	4
	ホームベース工 B	ブラ台付 t=40mm	ヶ所	4



一塁側ブルペン 平面図 1:100

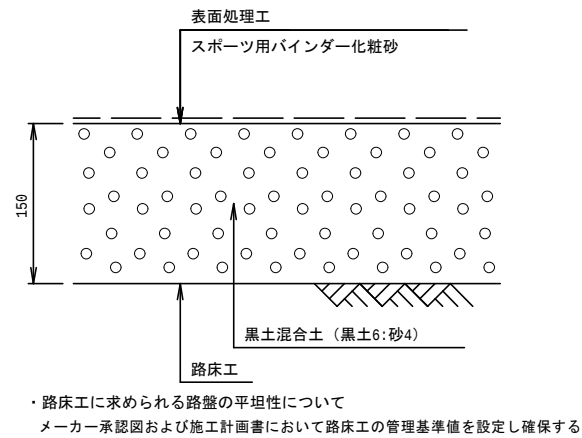


ブルペンマウンド 寸法図 S = 1 / 6 0

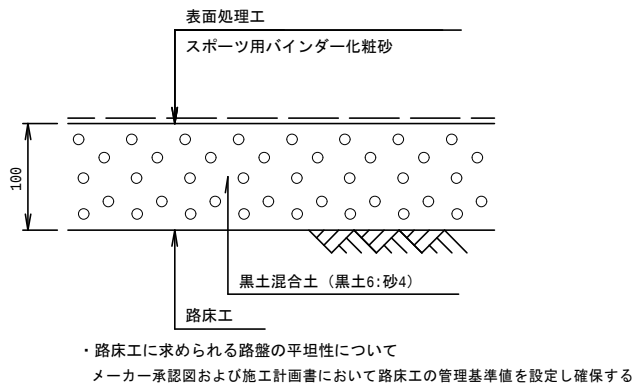


工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	ブルペン詳細図－1		
縮 尺	1:60、100	番 号	20 枚の内 G-12 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

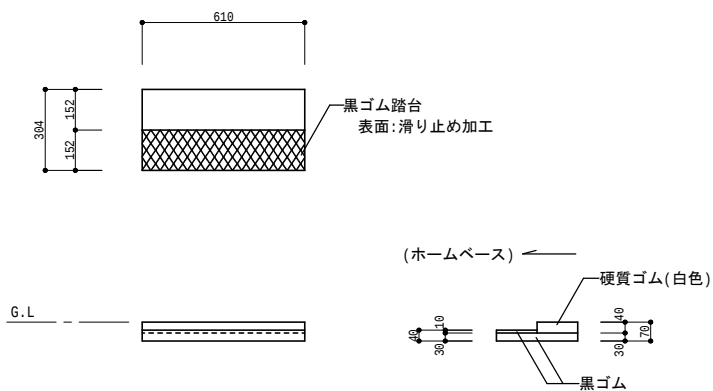
※公認野球規則による



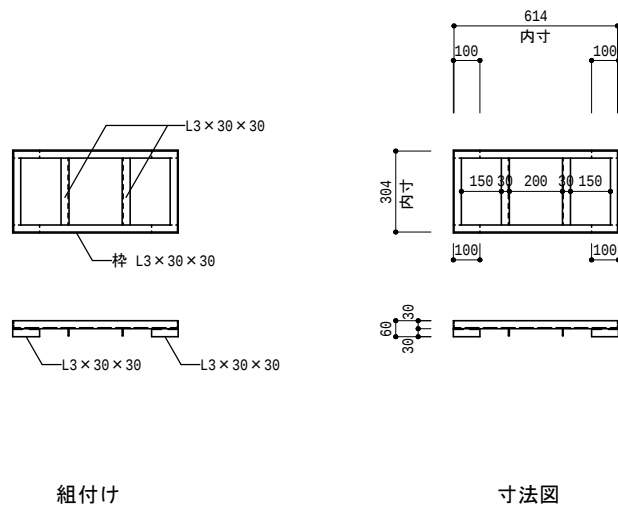
ブルペンマウンド舗装工 断面図 S=1:5



ブルペン舗装工 断面図 S=1:5

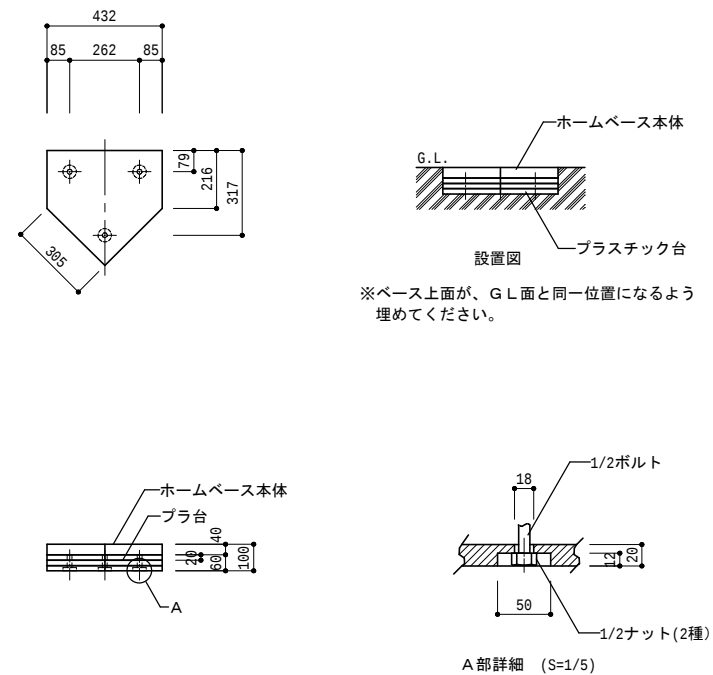


ピッチャープレート 詳細図 S=1:20



ピッチャープレート固定金具 詳細図 S=1:20

ステンレス製



ホームベース工B 詳細図 S-1:20

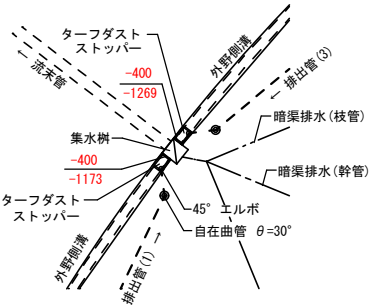
※図面は参考形状とする
※メーカー、製品名は参考とし
同等の性能を有する仕様とする
※公認野球規則による

工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	ブルペン詳細図ー2		
縮 尺	1:5、20	番 号	20 枚の内 G-13 号
設 計 年 月 日	令和8年7月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

凡 例

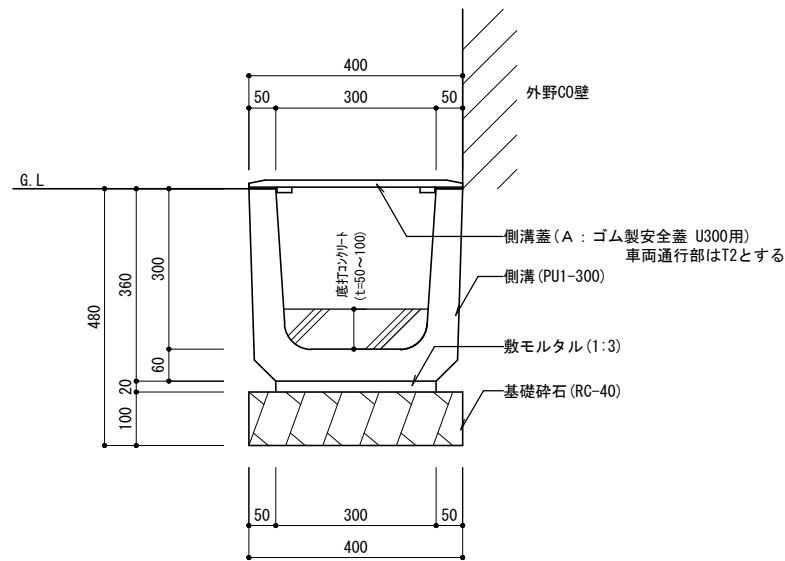
名 称	摘 要	数 量
外野側溝	PU1-300B型側溝(底打Co:t=100→50, i=0.3) コ 製安全蓋・基礎共	183.2 m
内野側溝	PU1-300B型側溝(底打Co:t=100→50, i=0.3) コ 製安全蓋・基礎共 車両通行部はT2とする (●部 選手通路部30枚は耐ハ イ仕様)	226.2 m
暗渠排水(幹管)	円形透水管(不織布巻) φ100	399.6 m
暗渠排水(枝管)	板状排水材(不織布巻) W300×t10	1,456.0 m
接続樹(1)	450角樹 H=830~880 コ 製安全蓋・基礎共	4 箇所
接続樹(2)	600角樹 H=928~978 コ 製安全蓋・基礎共	2 箇所
集水樹	600角樹 H=923~1089 コ 製安全蓋・基礎共	2 箇所
ターフダストストッパー	300B型用、集水枡接続部 各2箇所	4 箇所
排出管(1)	VUφ200 管底勾配: i=0.3%	61.8 m
排出管(2)	VUφ250 管底勾配: i=0.3%	31.4 m
排出管(3)	VUφ300 管底勾配: i=0.3%	60.4 m
排出管接続部(1)	45° エルボ φ200:4箇所 φ250:4箇所 φ300:4箇所	1 式
排出管接続部(2)	自在曲管 θ=30° φ200:4箇所 φ250:4箇所 φ300:4箇所	1 式
流末管(機械設備工事)	VUφ300 管底勾配: i=0.6%以上	1 式

- ・二段書き数値は、仕上高 を示す。
排出管管底高
- ・暗渠排水同士の接続は、接続箇所手前1m内外で管底高が低い側の管に摺り合わせる。

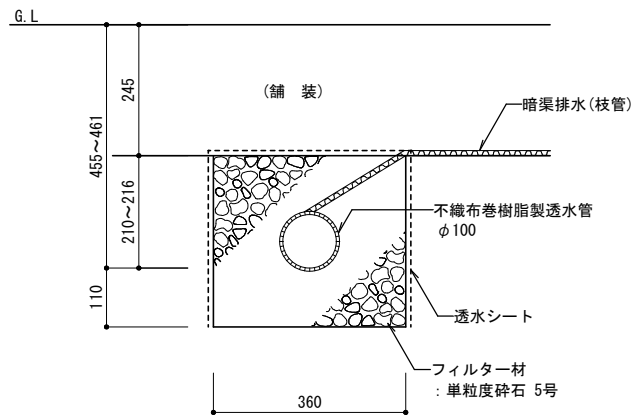


集水枡接続部 拡大図 S=1:200

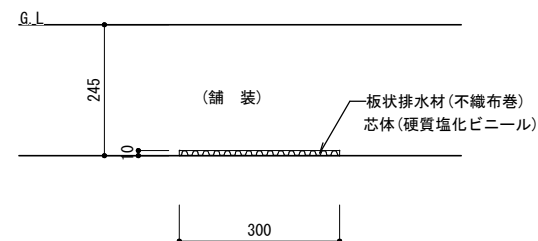
工 事 名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	グラウンド排水計画平面図		
縮 尺	1/600	番 号	20 枚の内 G-14 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



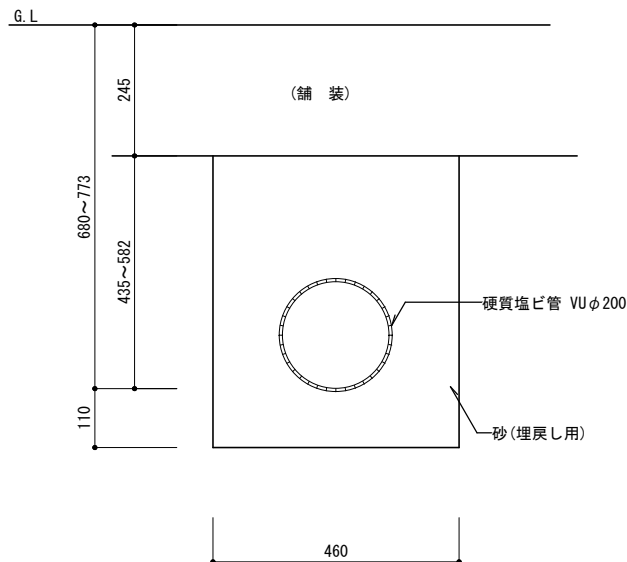
内外野側溝 詳細図 S=1:10



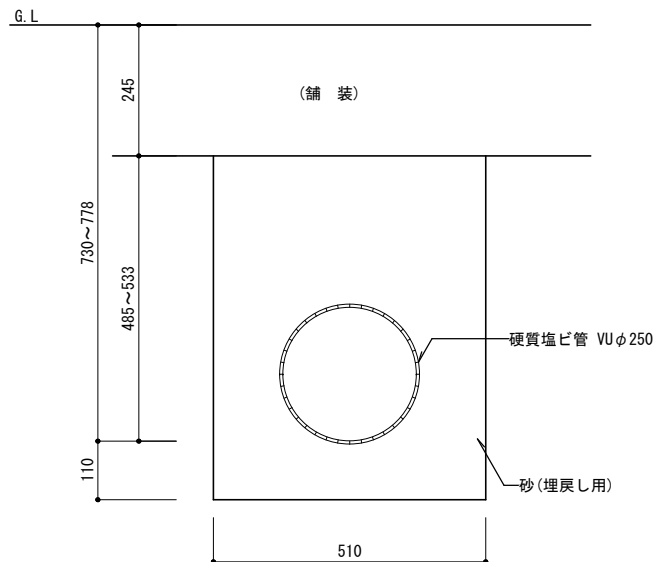
暗渠排水(幹管) 詳細図 S=1:10



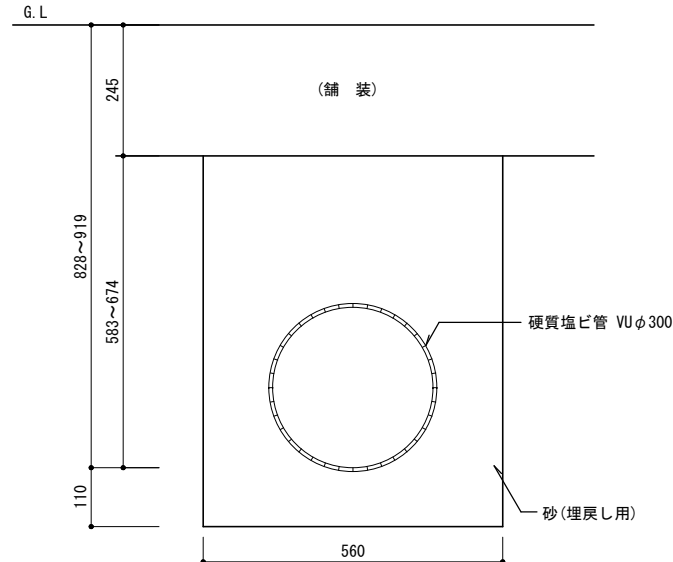
暗渠排水(枝管) 詳細図 S=1:10



排出管(1) 詳細図 S=1:10



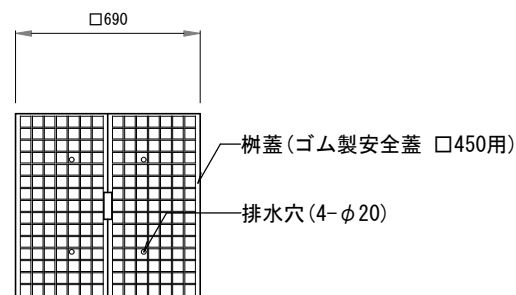
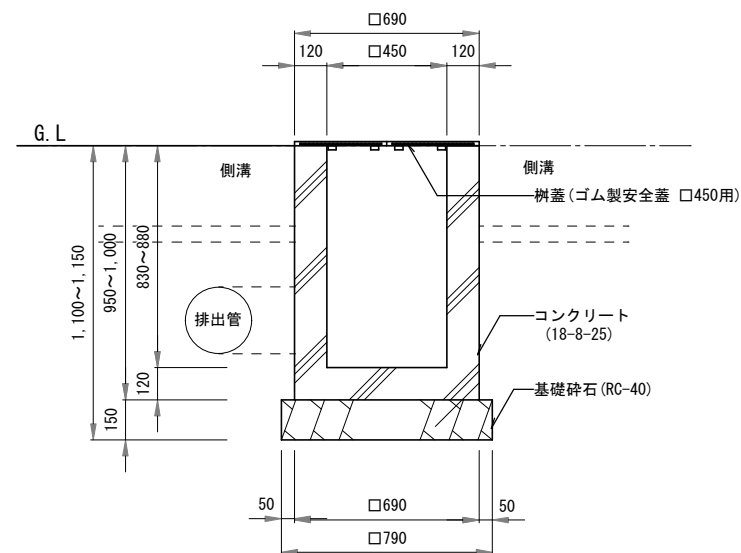
排出管(2) 詳細図 S=1:10



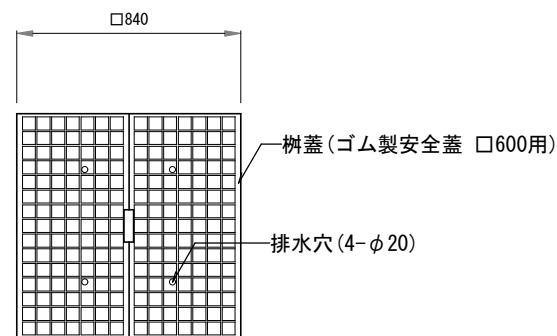
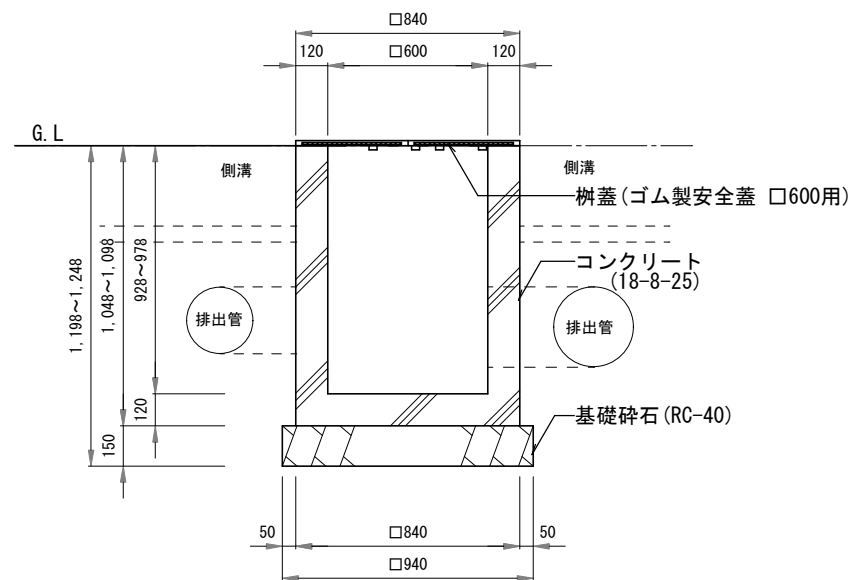
排出管(3) 詳細図 S=1:10

※図面は参考形状とする
※メーカー、製品名は参考とし
同等の性能を有する仕様とする

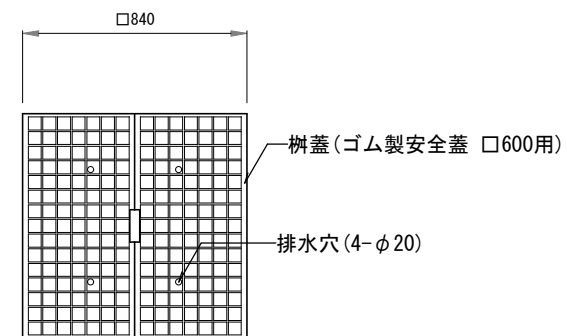
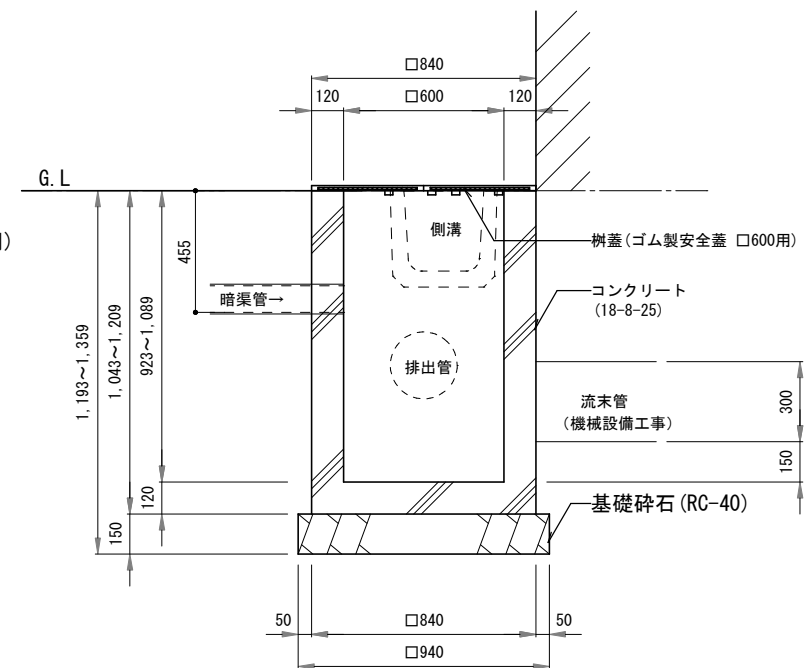
工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	排水詳細図－1		
縮 尺	1:10	番 号	20 枚の内 G-15 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



接続樹 (1) 詳細図 S=1:20



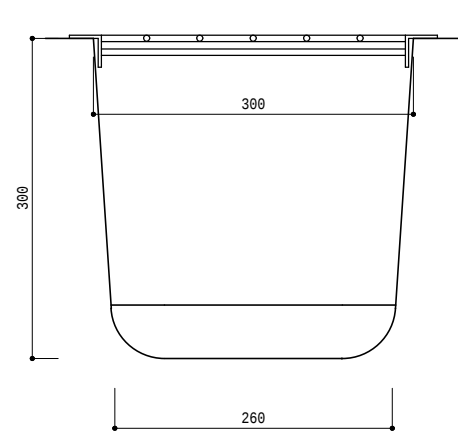
接続樹 (2) 詳細図 S=1:20



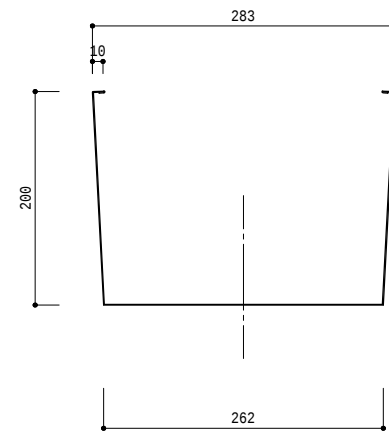
集水樹 詳細図 S=1:20

※図面は参考形状とする
※メーカー、製品名は参考とし
同等の性能を有する仕様とする

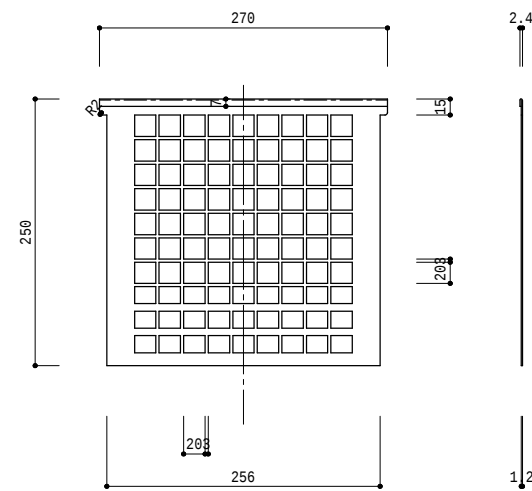
工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	排水詳細図-2		
縮 尺	1:20	番 号	20 枚の内 G-16号
設 計 年 月 日	令和8年7月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



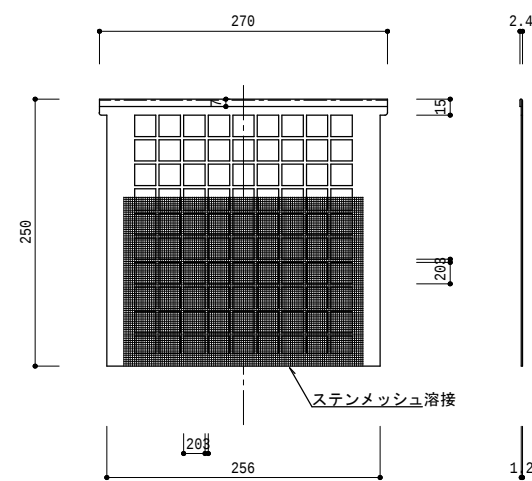
U型側溝(内寸)



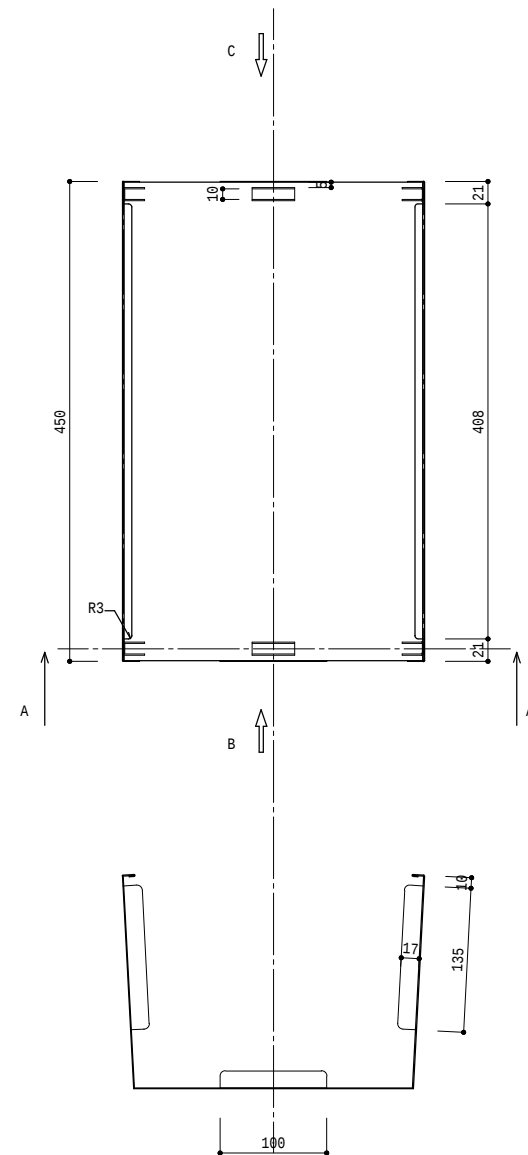
本体断面図 SUS304 2B 0.8t



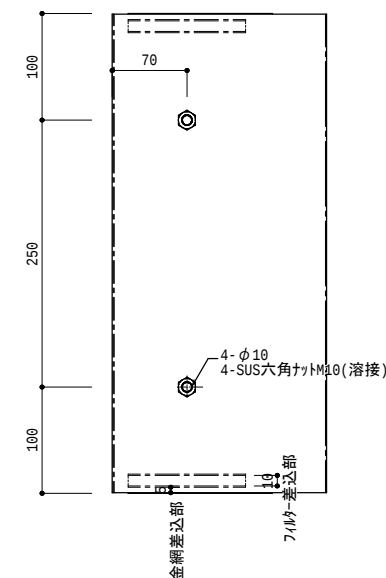
【 網 】 水上側



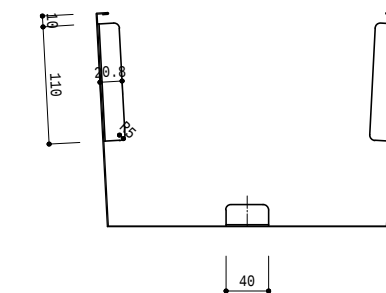
【 網 】 水下側



水上 B矢視



A-A 矢視

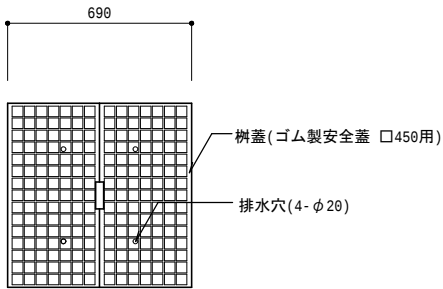
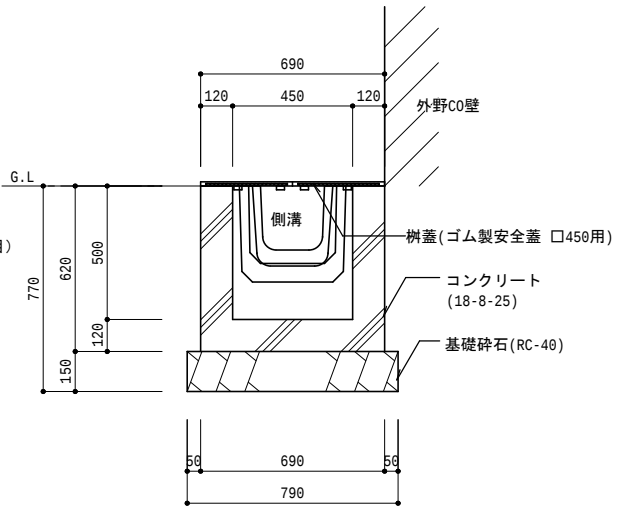
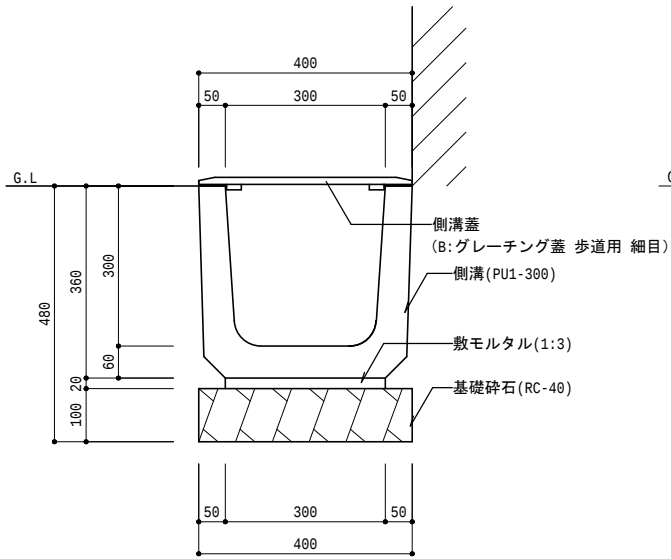
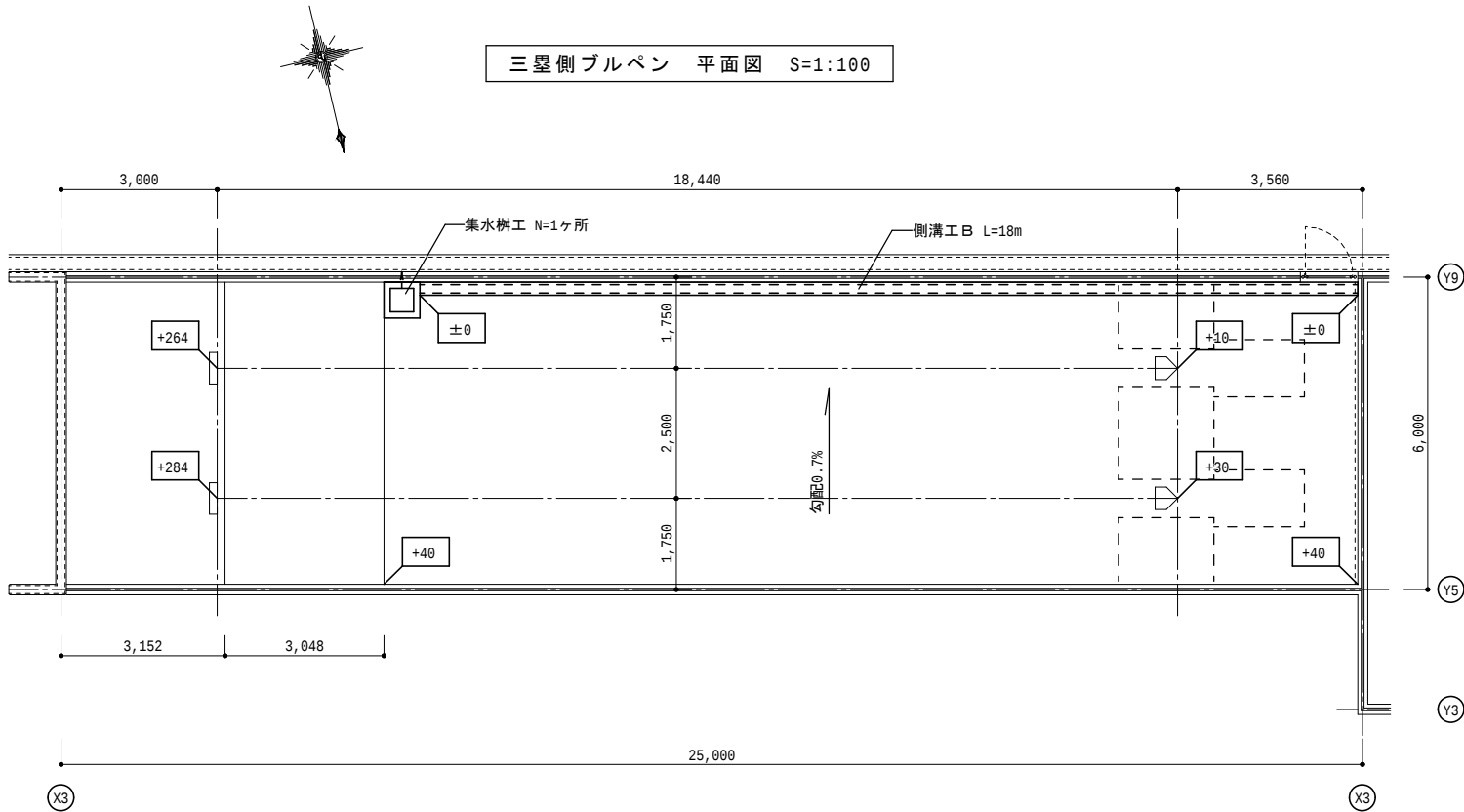


※図面は参考形状とする
※メーカー、製品名は参考とし
同等の性能を有する仕様とする

工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	ターフダストストッパー詳細図		
縮 尺	1:5	番 号	20 枚の内 G-17 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

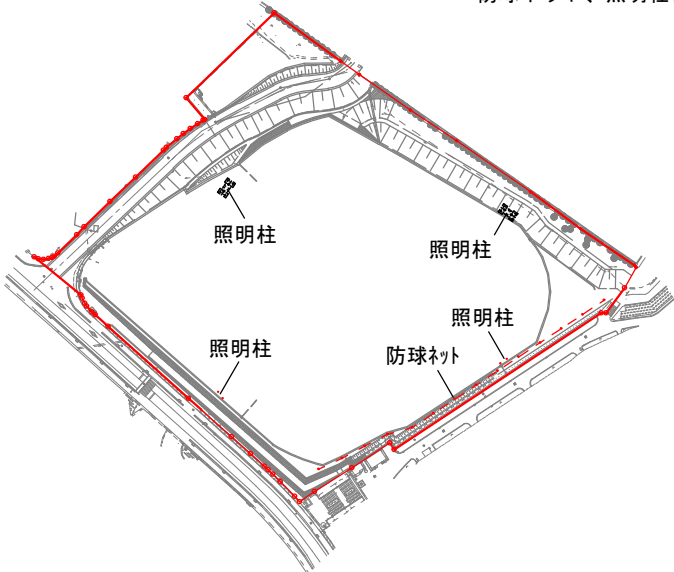
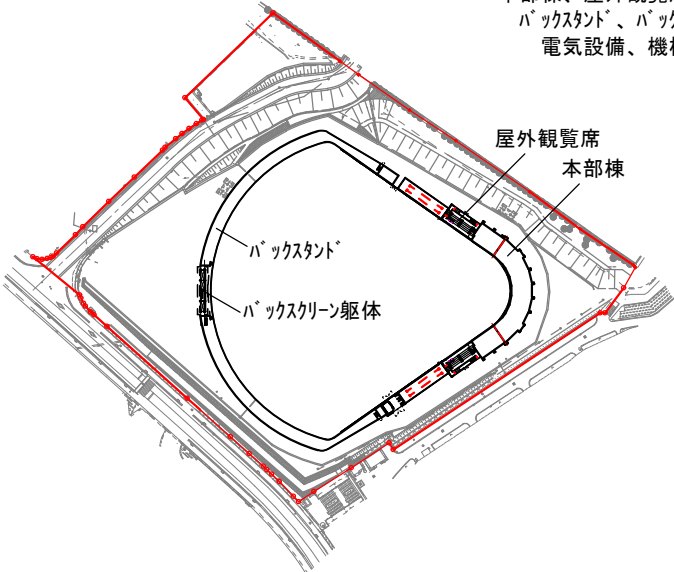
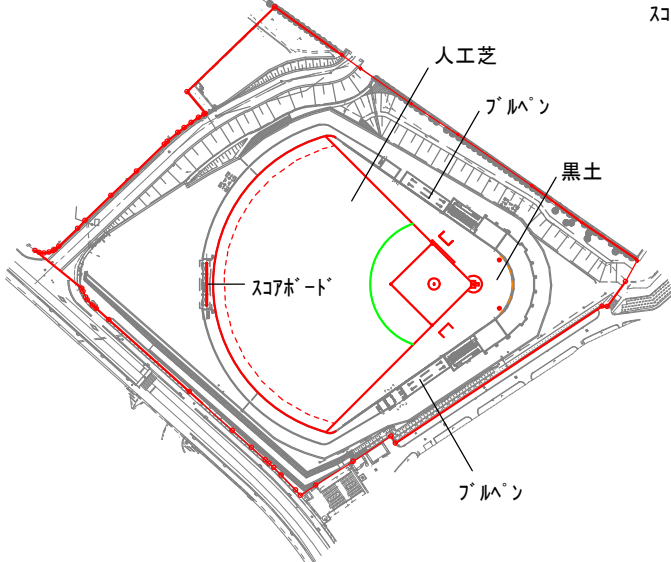
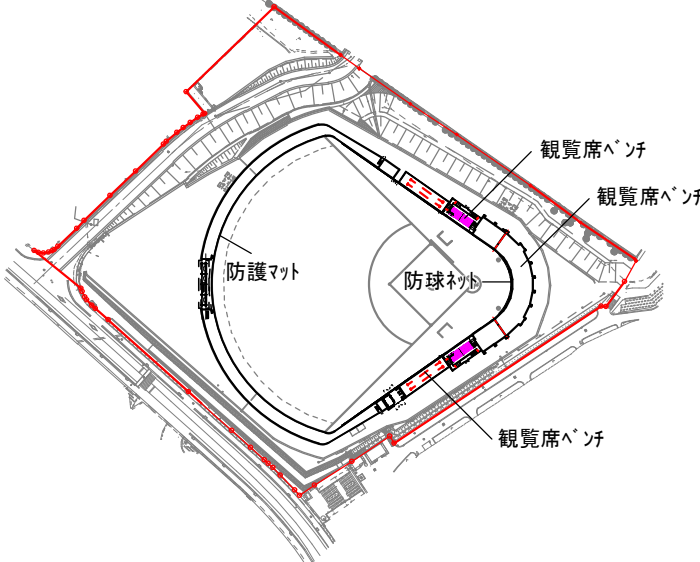
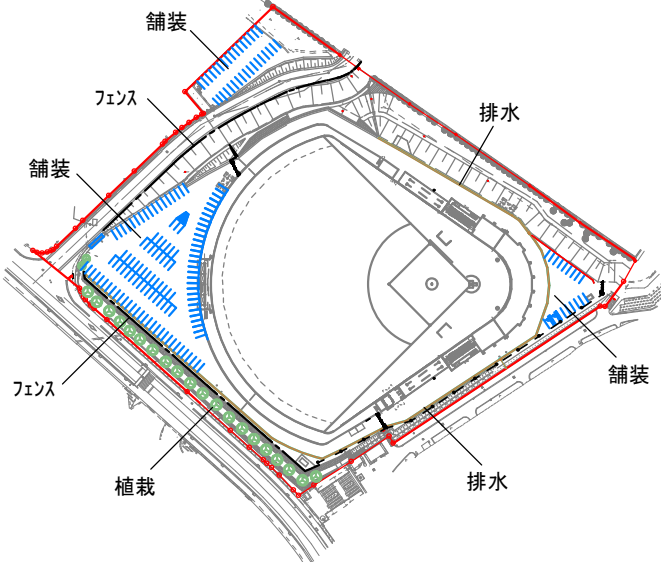
工事数量表

凡 例	名 称	規 格	単 位	数 量
	側溝工B	PU1-300 グレーチング蓋付 歩道用 細目	m	36
	集水枡工	□450 ゴム製安全蓋 排水管接続共	ヶ所	2



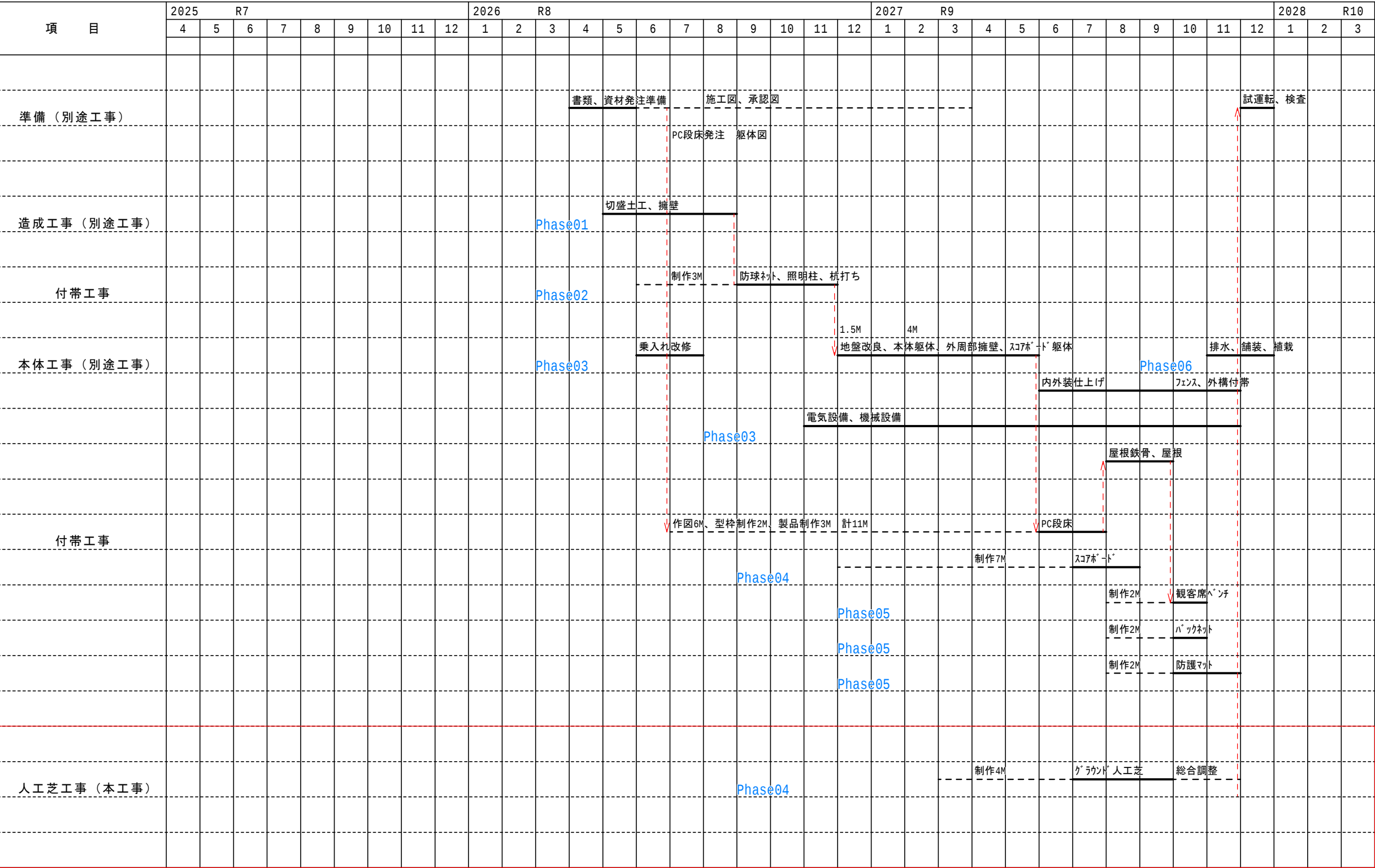
※図面は参考形状とする
※メーカー、製品名は参考とし
同等の性能を有する仕様とする

工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	ブルペン排水詳細図		
縮 尺	1:10, 20, 100	番 号	20 枚の内 G-18 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

1. 敷地造成工事 切土、盛土、法面成形、擁壁工事 高山高校道路改修、排水工事  高山高校道路改修 擁壁工事 排水工事 擁壁工事 法面成形 高山高校道路改修においては、可能な限り歩行者通路を確保すること。但し一時的には歩行者も全面通行止めが想定され、また、造成・道路・埋設管工事および本体工事車両通行の関係上、一般車両は本工事期間中の大半が通行不可となる。施工段階において、詳細工程と期間を詰めたいので、西側校門からの出入りを申し入れる必要がある。	2. 付帯工事 防球ネット、照明柱杭打ち工事  照明柱 照明柱 照明柱 防球ネット	3. 建築本体工事 本部棟、屋外観覧席、PC段床 バックスタンド、バックスクリーン躯体 電気設備、機械設備工事  屋外観覧席 本部棟 バックスタンド バックスクリーン躯体																								
4. 人工芝・専門工事 人工芝、黒土、ブルペン スコアボード本体  人工芝 ブルペン 黒土 スコアボード ブルペン	5. 本体関連専門工事 観覧席ベンチ、バックネット、防護マット  観覧席ベンチ 観覧席ベンチ 防護マット 防球ネット 観覧席ベンチ	6. 外構・植栽工事 排水工事、舗装工事、付帯施設工事 植栽工事  舗装 フェンス 舗装 フェンス 植栽 排水 排水 舗装																								
※各工事との調整を綿密に行い、工程計画（案）に基づき実施工程表を作成し、承認を得た後工事を進めること <table><tr><td>工事名</td><td colspan="3">中山公園野球場整備工事（人工芝）</td></tr><tr><td>図 名</td><td colspan="3">工事計画図</td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>—</td><td>番 号</td><td>20 枚の内 G-19 号</td></tr><tr><td>設 計 年 月 日</td><td colspan="3">令和 8 年 7 月</td></tr><tr><td>設 計</td><td colspan="3">株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹</td></tr><tr><td colspan="4">高 山 市</td></tr></table>			工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）			図 名	工事計画図			縮 尺	—	番 号	20 枚の内 G-19 号	設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月			設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹			高 山 市			
工事名	中山公園野球場整備工事（人工芝）																									
図 名	工事計画図																									
縮 尺	—	番 号	20 枚の内 G-19 号																							
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月																									
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹																									
高 山 市																										

業務名称： 中山公園野球場整備工事 工事工程（案）

工事着工予定	2026年12月
工事完成予定	2027年12月



工 事 名	中山公園野球場整備工事（人工芝）		
図 名	工事計画工程表【参考図】		
縮 尺	－	番 号	20 枚の内 G-20 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 7 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			